

第 107 回

2018 年 10 月～12 月期

「景況調査」



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会

目次

1	回答者の属性	1
2	全体の景況判断	4
	(ア) 全体の景況感	4
	(イ) 各項目の状況	6
3	主要指標のクロス分析	11
	(ア) 景況感別の動向	11
	(イ) 業種別の動向	12
	(ウ) 従業員規模別の動向	12
	(エ) 本社地区別の動向	12
4	経営上の問題点	13
5	その他の調査項目	16
	(ア) 資金繰り	16
	(イ) 人材獲得について	エラー! ブックマークが定義されていません。
6	経営指針書について	19
7	自由回答項目	21
	(ア) 景況理由	21

1 回答者の属性

このアンケートを回答したのはどのような人々か

過去最低であった前回より 23 件増加し 296 件であった。回収率は 13.5%。

第 107 回:調査時期:平成 30 年 11 月 29 日～12 月 28 日

回収数:296 件(平成 30 年 12 月 1 日時点会員数 2,177 名、回収率 13.5%)

方法:edoyu アンケートシステム(Web)、及び FAX

回答方法		第106回		第107回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	割合%	件数	割合%	
1	WEB	199	72.9	223	75.3	2.4
2	FAX	74	27.1	73	24.7	-2.4
	サンプル数(%ベース)	273	273	296	296	23
1.業種						
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	製造業(生産財)	16	5.9	19	6.4	0.5
2	製造業(消費財)	14	5.1	20	6.8	1.7
3	建設業(建築)	28	10.3	31	10.5	0.2
4	建設業(土木)	6	2.2	7	2.4	0.2
5	建設業(設備)	7	2.6	15	5.1	2.5
6	商業・流通業	27	9.9	32	10.8	0.9
7	サービス業(対事業所)	103	37.7	100	33.9	-3.8
8	サービス業(対個人)	72	26.4	71	24.1	-2.3
	不明	0	0	1	0	
	サンプル数(%ベース)	273	273	296	295	22
2.従業員数						
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	0名～5名	112	41	105	35.6	-5.4
2	6名～10名	51	18.7	61	20.7	2
3	11名～20名	45	16.5	44	14.9	-1.6
4	21名～30名	27	9.9	28	9.5	-0.4
5	31名～50名	14	5.1	15	5.1	0
6	51名～100名	11	4	24	8.1	4.1
7	100名以上	13	4.8	18	6.1	1.3
	不明	0	0	1	0	0
	サンプル数(%ベース)	273	273	296	295	22

3.本社所在地		第106回		第107回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	福岡地区	192	70.3	198	66.9	-3.4
2	北九州地区	26	9.5	35	11.8	2.3
3	筑豊地区	35	12.8	37	12.5	-0.3
4	県南地区	18	6.6	21	7.1	0.5
5	福岡県外	2	0.7	5	1.7	1
	不明	0	0	0	0	0
	サンプル数(%ベース)	273	273	296	296	23
4.所属支部		第106回		第107回		構成比増減
No.	支部名	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	東支部	19	7.1	20	6.8	-0.3
2	福博支部	16	6.0	16	5.5	-0.6
3	博多支部	25	9.4	29	9.9	0.5
4	中央支部	16	6.0	15	5.1	-0.9
5	西支部	15	5.6	14	4.8	-0.9
6	南支部	17	6.4	24	8.2	1.8
7	筑紫支部	10	3.8	10	3.4	-0.3
8	福友支部	24	9.0	24	8.2	-0.8
9	青年支部	16	6.0	11	3.8	-2.3
10	玄海支部	24	9.0	27	9.2	0.2
11	かすや支部	6	2.3	7	2.4	0.1
12	糸島支部	7	2.6	5	1.7	-0.9
13	北九州支部	18	6.8	24	8.2	1.4
14	ひびき支部	5	1.9	11	3.8	1.9
15	のおがた支部	13	4.9	19	6.5	1.6
16	飯塚支部	13	4.9	12	4.1	-0.8
17	田川支部	6	2.3	5	1.7	-0.5
18	久留米支部	6	2.3	7	2.4	0.1
19	大牟田支部	3	1.1	6	2.0	0.9
20	有明支部	2	0.8	3	1.0	0.3
21	りょうちく支部	5	1.9	4	1.4	-0.5
	不明	7	2.6	3	1.0	-1.6
	サンプル数(%ベース)	273	266	296	293	27.0

	%	サンプル数	製造業 (生産財)	製造業 (消費財)	建設業 (建築)	建設業 (土木)	建設業 (設備)	商業・流通業	サービス業 (対事業所)	サービス業 (対個人)
	合計	273	6.4	6.8	10.5	2.4	5.1	10.8	33.9	24.1
本社地区	福岡地区	192	3.0	7.1	11.7	2.5	5.1	10.2	38.1	22.3
	北九州地区	26	11.4	5.7	11.4	2.9	5.7	11.4	31.4	20.0
	筑豊地区	35	13.5	5.4	8.1	2.7	5.4	16.2	16.2	32.4
	県南地区	18	19.0	9.5	4.8	0.0	4.8	9.5	23.8	28.6
	福岡県外	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0
従業員数規模	0名～5名	112	4.8	1.9	7.7	1.9	2.9	9.6	39.4	31.7
	6名～10名	51	6.6	4.9	19.7	3.3	8.2	9.8	29.5	18.0
	11名～20名	45	6.8	11.4	6.8	2.3	6.8	11.4	31.8	22.7
	21名～30名	27	7.1	17.9	14.3	3.6	7.1	7.1	17.9	25.0
	31名～50名	14	6.7	13.3	20.0	6.7	6.7	26.7	6.7	13.3
	51名～100名	11	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	41.7	25.0
	100名以上	13	0.0	5.6	5.6	0.0	5.6	16.7	55.6	11.1

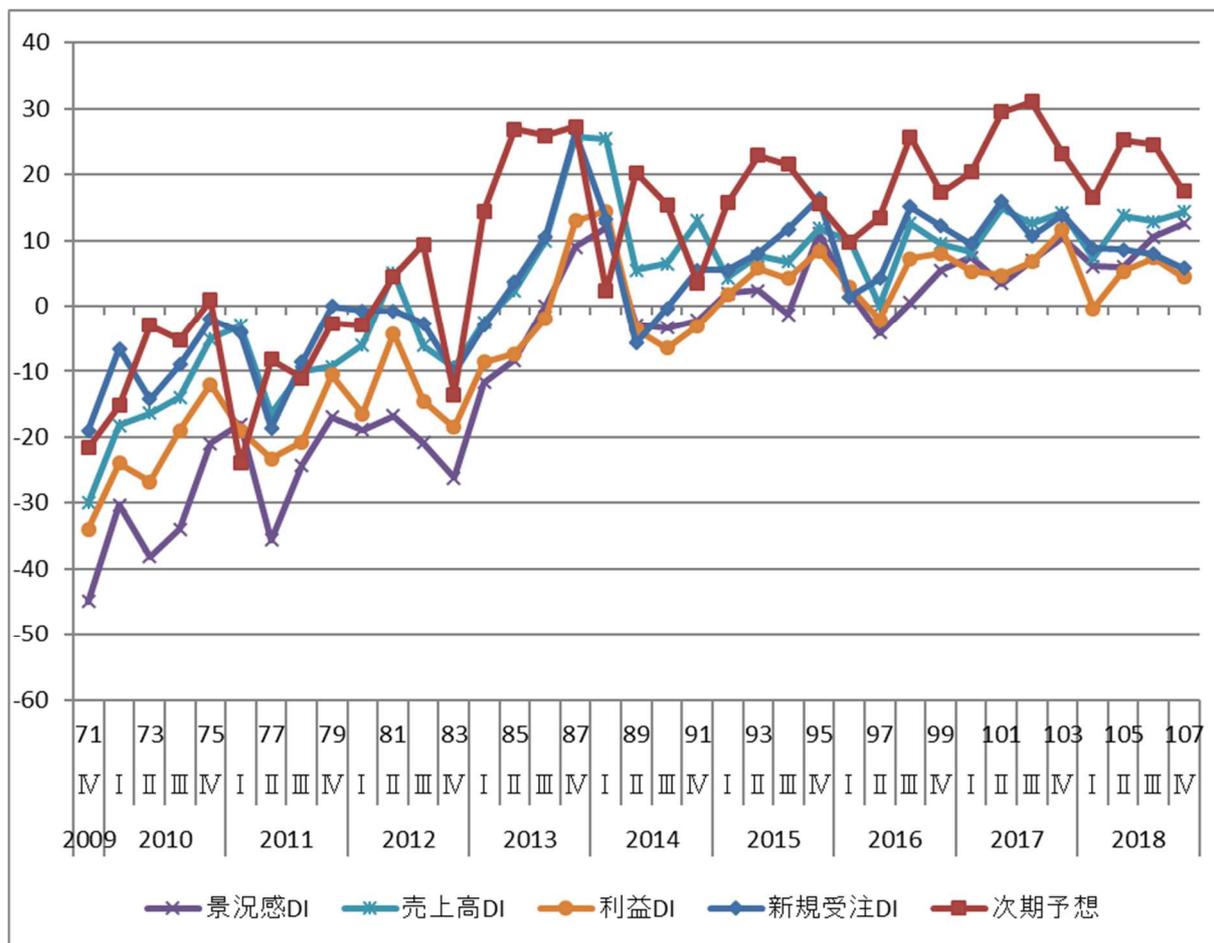
2 全体の景況判断

(ア) 全体の景況感

景況感各種 DI(よいー悪い)の状況はどうなっているか

景況感 DI は改善し過去 10 年での最高を更新したが、利益・新規受注・次期予想 DI は低下した。

全体の推移



	今回数値	前回からの変動
景況感 DI	12.6	2.1
売上高 DI	14.3	1.4
利益 DI	4.4	-2.9
新規受注 DI	5.8	-2.1
次期予想 DI	17.4	-7.1

年	月	回	回収数	景況感DI	売上高DI	利益DI	新規受注DI	次期予想	資金繰りDI
2009	IV	71	413	-45	-30	-34	-19	21.6	-28
2010	I	72	432	-30	-18	-24	-7	15.2	-17
	II	73	535	-38	-16	-27	-14	-3	-21
	III	74	485	-34	-14	-19	-9	-5.2	-18
	IV	75	426	-21	-5	-12	-2	0.9	-15
2011	I	76	349	-18	-3	-19	-4	-24	-28
	II	77	398	-36	-16	-23	-19	-8.2	-11
	III	78	374	-24	-10	-21	-9	-11	-13
	IV	79	341	-17	-9	-11	0	-2.7	-10
2012	I	80	338	-19	-6	-17	-1	-3	-8
	II	81	437	-17	5	-4	-1	4.5	-6
	III	82	502	-21	-6	-15	-3	9.4	-15
	IV	83	357	-26	-9	-19	-10	13.6	-16
2013	I	84	420	-12	-3	-9	-3	14.4	-16
	II	85	378	-8	2	-7	4	26.9	-8
	III	86	284	0	10	-2	11	25.9	1
	IV	87	290	9	26	13	26	27.3	0
2014	I	88	300	12	25	14	13	2.3	0
	II	89	319	-3	6	-4	-6	20.3	-6
	III	90	294	-3	7	-7	0	15.4	0
	IV	91	319	-2	13	-3	6	3.5	-1
2015	I	92	359	2.0	4.3	1.7	5.5	15.7	-2.0
	II	93	298	2.4	7.6	5.8	8.0	22.9	7.4
	III	94	386	-1.3	6.7	4.2	11.7	21.5	-2.6
	IV	95	355	11.0	11.8	8.4	16.4	15.5	3.9
2016	I	96	424	2.1	10.0	2.9	1.4	9.8	未調査
	II	97	347	-4.1	0	-2.1	4.2	13.5	10.0
	III	98	449	0.5	12.6	7.2	15.1	25.7	6.3
	IV	99	382	5.5	9.5	8	12.2	17.2	5.0
2017	I	100	287	7.4	8.2	5.3	9.5	20.4	未調査
	II	101	409	3.4	14.9	4.7	16	29.5	6.9
	III	102	442	6.9	12.6	6.7	10.6	31	5.7
	IV	103	355	10.3	14.2	11.6	13.8	23.2	12.2
2018	I	104	358	6.1	7.3	-0.3	8.8	16.5	5.9
	II	105	382	6	13.7	5.3	8.6	25.2	9.5
	III	106	273	10.5	12.9	7.3	7.9	24.5	10.7
	IV	107	296	12.6	14.3	4.4	5.8	17.4	4.1

2014以前は四捨五入

※ 資金繰りDIは73回より5段階評価

景況感は現況判断のため、前年同期比較すると以下のような推移となっている。

	I	II	III	IV
2009				-45
2010	-30	-38	-34	-21
2011	-18	-36	-24	-17
2012	-19	-17	-21	-26
2013	-12	-8.3	0	9
2014	12	-3	-3	-2
2015	2	2	-1	11
2016	2	-4	0	5
2017	7.4	3.4	6.9	10.3
2018	6.1	6	10.5	12.6



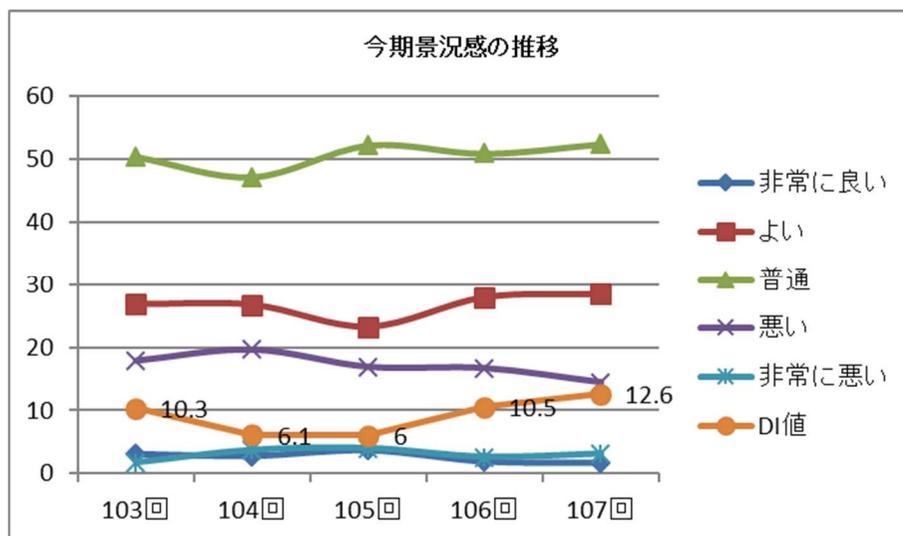
(イ) 各項目の状況

今期景況感 DI

2018年10～12月期の貴社の景況判断はいかがでしたか。

景況感は2.1pt改善し、88回（2014年I期）の11.9を上回って過去10年で最高となった。

5. 今期景況判断		第106回	DI値	10.5	第107回	DI値	12.6	+2.1	
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減	
1	非常に良い	5	1.9	29.8	5	1.7	30.1	-0.2	+0.3
2	よい	75	27.9		83	28.4		+0.5	
3	普通	137	50.9	50.9	153	52.4	52.4	+1.5	
4	悪い	45	16.7	19.3	42	14.4	17.5	-2.3	-1.8
5	非常に悪い	7	2.6		9	3.1		+0.5	
	不明	4			4				
	サンプル数(%ベース)	273	269		296	292		23	



IV期はもともと高く表れる傾向があるが、過去推移を見ても谷からの反動的改善ではなく二年連続改善であり、好況感が定着した感がある。

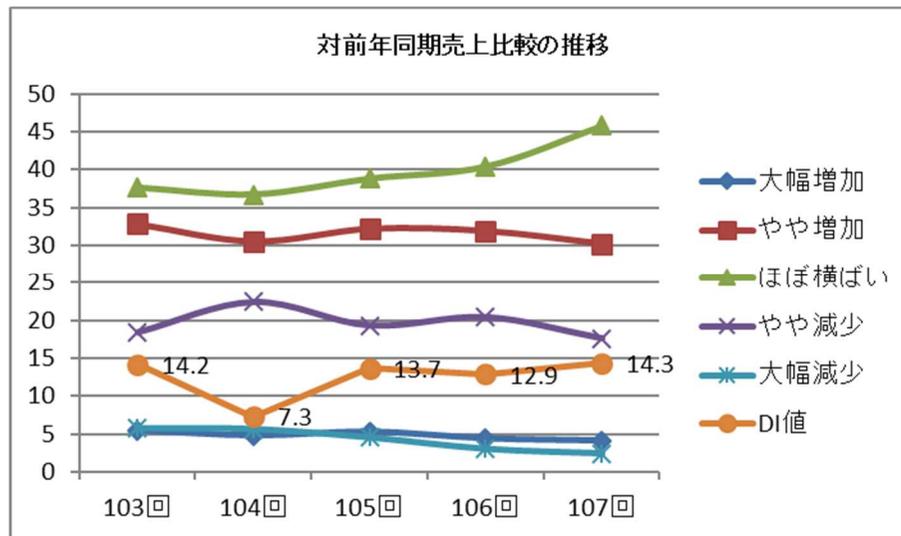
一方、改善幅は縮小しており、その他の指標も減退を示していることもあって、先行きに若干の警戒感がある。

売上高DI

2018年10～12月期の貴社の「売上高」について、前年同期(2017年10～12月)に比較してお答えください。

ほぼ横ばいが5.4pt増加し、売上高DIとしては1.4ptの改善で14.3となった。

6.対前年同期売上高比較		第106回	DI値	12.9	第107回	DI値	14.3	+1.4
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	大幅増加	12	4.4	36.3	12	4.1	34.3	-0.3
2	やや増加	86	31.9		89	30.2		-1.7
3	ほぼ横ばい	109	40.4	40.4	135	45.8	45.8	+5.4
4	やや減少	55	20.4		52	17.6		-2.8
5	大幅減少	8	3	23.4	7	2.4	20	-0.6
	不明	3			1			
	サンプル数(%ベース)	273	270		296	295		25



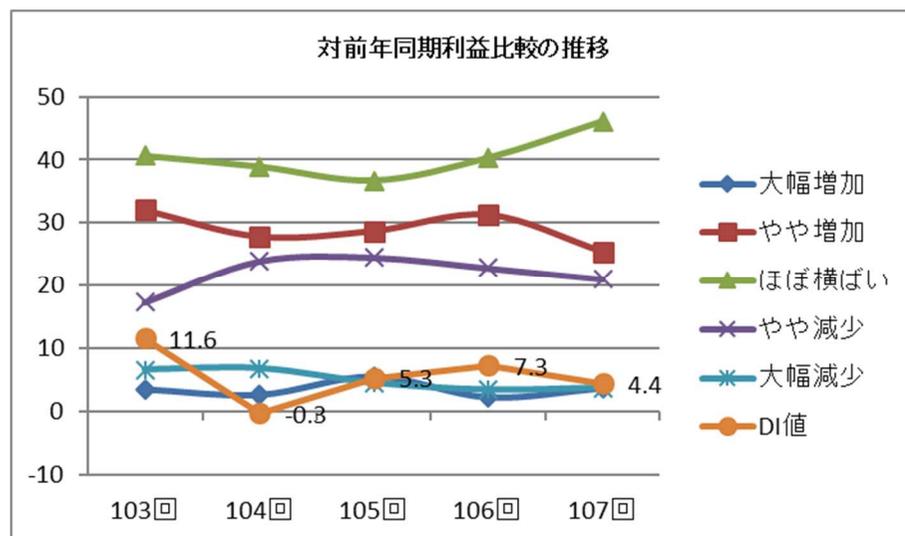
景況理由 pickup「売上」(行塗りは景況感別、以下同)
1 業務分野の拡張(売上、利益増)単価アップ(新規)
2 売上高は増加したものの、原価高騰、人件費増加とうにより利益はほぼ横ばいとなった。
3 1. 公共工事の発注増加の影響2. 新規事業による売り上げ増
4 売上受注は起業からまだ間もないことから当社の計画通り推移。予想よりも業務委託や備品システム等への投資が込み、利益減少
5 売上増、人件費増
6 前年が多すぎで今年は通常の受注と売上になった
7 鉄の価格の下落により売り上げ、利益共に落ちた。
8 受注機会はたくさんあるけれども、熟練職人不足により売上・利益ともに伸ばせず苦慮している
9 海外営業(コンサル)の結果、韓国事業コンサルティング売り上げ増加となった。
10 売上が減少している

利益 DI

2018年10～12月期の貴社の「利益」について、前年同期(2017年10～12月)に比較してお答えください。

利益増加側の回答割合が4.4pt低下した一方でほぼ横ばいが5.8pt増加し、利益DIとしては2.9pt低下の4.4となった。

7.対前年同期利益比較		第106回	DI値	7.3	第107回	DI値	4.4	-2.9
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	大幅増加	6	2.2	33.5	11	3.7	29.1	+1.5
2	やや増加	84	31.3		75	25.4		-5.9
3	ほぼ横ばい	108	40.3	40.3	136	46.1	46.1	+5.8
4	やや減少	61	22.8		62	21		-1.8
5	大幅減少	9	3.4	26.2	11	3.7	24.7	+0.3
	不明	5			1			
	サンプル数(%ベース)	273	268		296	295		27



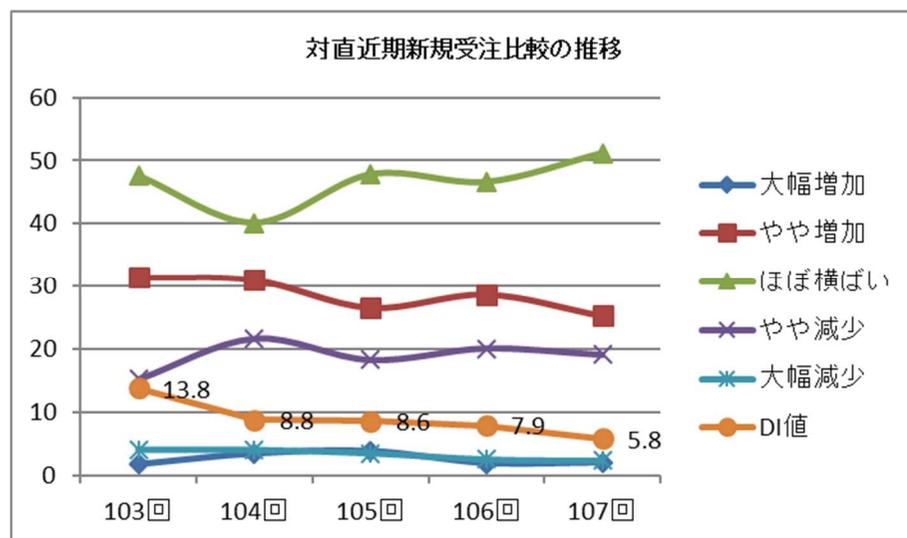
	景況理由 pickup「益」
1	利益率の調整
2	業務分野の拡張(売上、利益増)単価アップ(新規)
3	売上高は増加したものの、原価高騰、人件費増加とうにより利益はほぼ横ばいとなった。
4	売上受注は起業からまだ間もないことから当社の計画通り推移。予想よりも業務委託や備品システム等への投資が込み、利益減少
5	鉄の価格の下落により売り上げ、利益共に落ちた。
6	受注機会はたくさんあるけれども、熟練職人不足により売上・利益ともに伸ばせず苦慮している
7	既存ユーザーからの新規受注。値上げ交渉による利益増加

新規受注 DI

2018年10～12月期の貴社の「新規受注」について、直近期(2018年7月～9月期)に比較してお答えください。

受注増加側の回答割合が 3.3pt 低下した一方でほぼ横ばいが 4.6pt 増加し、受注 DI としては 2.1pt 低下の 5.8 となった。

8.対直近期新規受注比較		第106回	DI値	7.9	第107回	DI値	5.8		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減	
1	大幅増加	5	1.9	30.6	6	2	27.3	+0.1	-3.3
2	やや増加	77	28.7		74	25.3		-3.4	
3	ほぼ横ばい	125	46.6	46.6	150	51.2	51.2	+4.6	
4	やや減少	54	20.1	22.7	56	19.1	21.5	-1.0	-1.2
5	大幅減少	7	2.6		7	2.4		-0.2	
	不明	5			3				
	サンプル数(%ベース)	273	268		296	293		25	



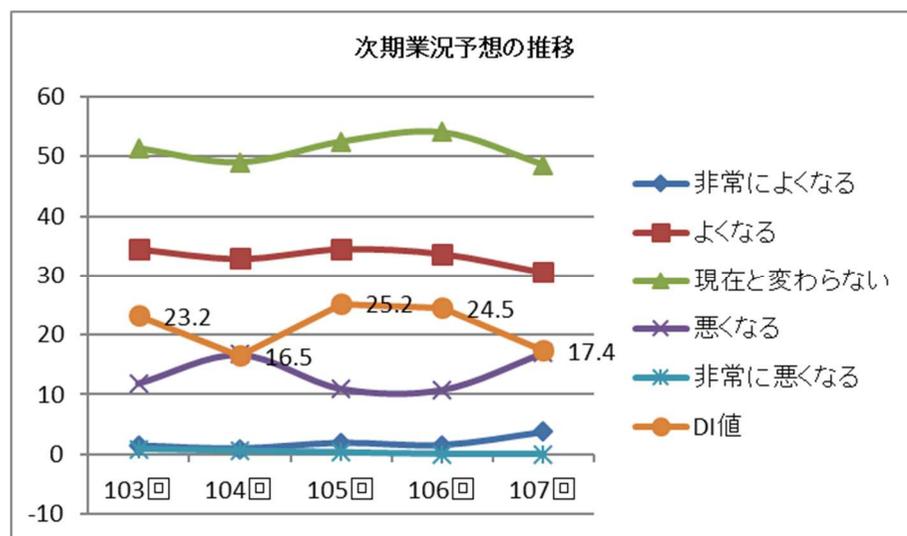
	景況理由 pickup「受注」
1	案件はあるものの、働き方改革による残業規制、人材不足により受注を絞らざるを得ない。
2	相続対策の消費税UP前の新規受注 建て替え物件の増加
3	受注の増加(個人客、建築会社他)
4	夏期に新規工事受注が多かった点
5	受注機会はたくさんあるけれども、熟練職人不足により売上・利益ともに伸ばせず苦慮している
6	会社体制、環境の整備に伴い大手企業から受注開始
7	人手が不足しており、受注できない
8	10月からの最低賃金UPによる人件費の増、およびスポット業務の受注不足また人手不足による新規物件への躊躇
9	新規受注数が足りなかった

次期予想 DI

2019年1～3月期の貴社の業況をどのように予想されていますか。

「非常に悪くなる」の回答がゼロであった一方で「悪くなる」は6.3pt増加し、次期予想DIは前回より7.1pt低下の17.4であった。

10.次期業況予想		第106回	DI値	24.5	第107回	DI値	17.4	-7.1
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	非常によくなる	4	1.5	35.2	11	3.8	34.4	+2.3
2	よくなる	91	33.7		88	30.6		-3.1
3	現在と変わらない	146	54.1	54.1	140	48.6	48.6	-5.5
4	悪くなる	29	10.7		49	17		+6.3
5	非常に悪くなる	0	0	10.7	0	0	17	+0.0
	不明	3			8			
	サンプル数(%ベース)	273	270		296	288		18

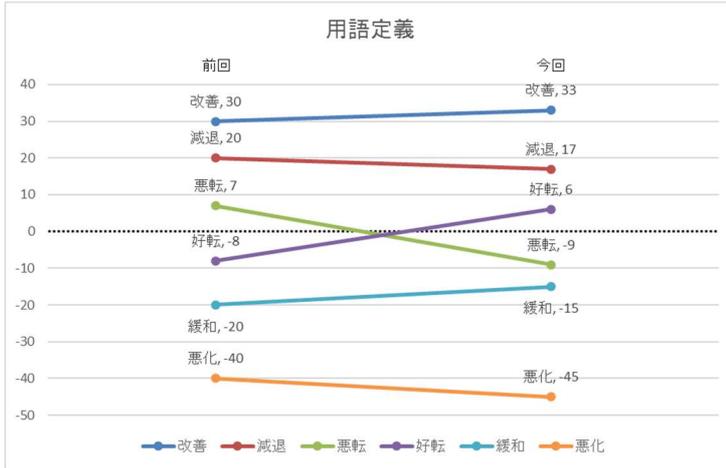


「現在と変わらない」という回答は5.5pt減少しており、三期ぶりに過半数を下回ったが依然として多い。

しかし「よくなる」は二期連続の低下、「悪くなる」も三期前の山を上回っており、成長の足を引っ張るコスト増等に対して不安が表れている。

3 主要指標のクロス分析

			DI値増加	DI値減少		
説明	DI値が正	改善の回答が多い	改善増進	改善減退	0か負から正	好転
	DI値が負	悪化の回答が多い	悪化緩和	悪化	0か正から負	悪転



本クロス分析では「よい」-「悪い」の差である DI 値を前回数値と比較した変動と合わせて評価している。

以下の表中カッコ内は前回との差であり太字は前回 DI 値から符号反転したことを示している。

DI 値がプラスである場合はよい回答が多いことを示しているため、前回より値が減少してもプラスである限りは全体の趨勢としてはまだ良であることを表している。

(ア) 景況感別の動向

景況感の良し悪しはその他の指標とどのような関係にあったか

景況感が「よい」層の各指標の DI は、高いレベルにあるものの前回からは減退している。

「悪い」層においても悪化が多いが新規受注 DI は緩和した。「普通」の層は売上・利益とも改善しているが次期予想は減退している。

	第107回	景況件数	景況DI構成比	売上高DI値	利益DI値	新規受注DI値	次期予想DI値	件単位
	有効回答数	292	100%	291	291	289	284	
今期景況感	非常に良い	5	1.7%(-0.2)	100(40)	100(20)	40(-20)	40(60)	20.0
	よい	83	28.4%(0.5)	74.7(-13.1)	65.1(-8.9)	51.8(-10.9)	39.5(-7.1)	1.2
	普通	153	52.4%(1.5)	7.9(7.2)	-1.3(2.4)	0(0)	10.1(-6.8)	0.7
	悪い	42	14.4%(-2.3)	-78.6(-10.4)	-88.1(-19.9)	-59.5(6.4)	0(-22.2)	2.4
	非常に悪い	9	3.1%(0.5)	-55.6(30.2)	-77.8(7.9)	-55.6(-12.7)	0(14.3)	11.1

(イ) 業種別の動向

業種別の各指標の状況はどのような状況であったか

生産財や建設業を中心に売上・利益の改善が目立つ。一方、商業・流通業は悪転、サービス業においては減退した項目が多い。

第107回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位	
クロス回答数		291(22)	294(24)	294(26)	293(25)	287(17)		
全体	295	12.7(2.3)	14.6(1.7)	4.8(-2.7)	5.8(-2)	17.4(-7)	0.3	
業種	製造業(生産財)	19	42.1(35.9)	52.6(52.6)	36.8(43.1)	36.8(24.3)	33.3(20.8)	5.3
	製造業(消費財)	20	-5.3(30.5)	0(0)	-15(-7.9)	5(-2.1)	-20(-34.3)	5.0
	建設業(建築)	31	33.3(8.3)	19.4(0.8)	6.5(10.2)	12.9(-1.4)	41.9(13.4)	3.2
	建設業(土木)	7	42.9(26.2)	14.3(31)	28.6(28.6)	0(-33.3)	42.9(59.5)	14.3
	建設業(設備)	15	33.3(61.9)	6.7(6.7)	13.3(27.6)	20(62.9)	21.4(21.4)	6.7
	商業・流通業	32	-3.1(-6.8)	-6.3(-21.1)	-18.8(-30.3)	0(7.7)	3.4(-29.9)	3.1
	サービス業(対事業所)	100	13.1(-7.9)	17(-2.4)	10.1(-4.8)	4(-16)	22.2(-5.8)	1.0
	サービス業(対個人)	71	0(-5.6)	14.3(4.4)	0(-8.5)	-2.9(1.4)	8.7(-16.3)	1.4

(ウ) 従業員規模別の動向

従業員規模の大小は各指標でどのような差が表れたか

前回悪転していた31~50名の層などにおいて好転がみられる。一方、0~5名の層において悪転している。

第107回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位	
クロス回答数		291(22)	294(24)	294(26)	292(24)	287(17)		
全体	295	12.7(2.3)	14.3(1.3)	4.4(-3)	6.2(-1.7)	17.4(-7)	0.3	
従業員規模	0名~5名	105	-5.7(-19.2)	-1.9(-20.1)	-8.6(-19.7)	-3.9(-6.6)	12.5(-7.1)	1.0
	6名~10名	61	22(11.6)	23(9)	16.4(4.6)	13.1(1.4)	23.7(-0.3)	1.6
	11名~20名	44	9.1(4.6)	14(2.8)	-2.3(-4.5)	2.3(-18.6)	17.1(0.8)	2.3
	21名~30名	28	39.3(35.6)	28.6(21.2)	28.6(21.2)	10.7(10.7)	25.9(-18.5)	3.6
	31名~50名	15	14.3(21.4)	6.7(21)	-6.7(7.6)	13.3(34.8)	33.3(4.8)	6.7
	51名~100名	24	21.7(12.6)	33.3(51.5)	12.5(30.7)	16.7(25.8)	0(-36.4)	4.2
	100名以上	18	44.4(6)	38.9(0.4)	17.6(-5.4)	22.2(-31.6)	23.5(-14.9)	5.6

(エ) 本社地区別の動向

地区別ではどのような状況であったか

前回好転した北九州や福岡が減退、とくに北九州の受注は悪転している。

一方筑豊・県南においては好転した項目が多い。

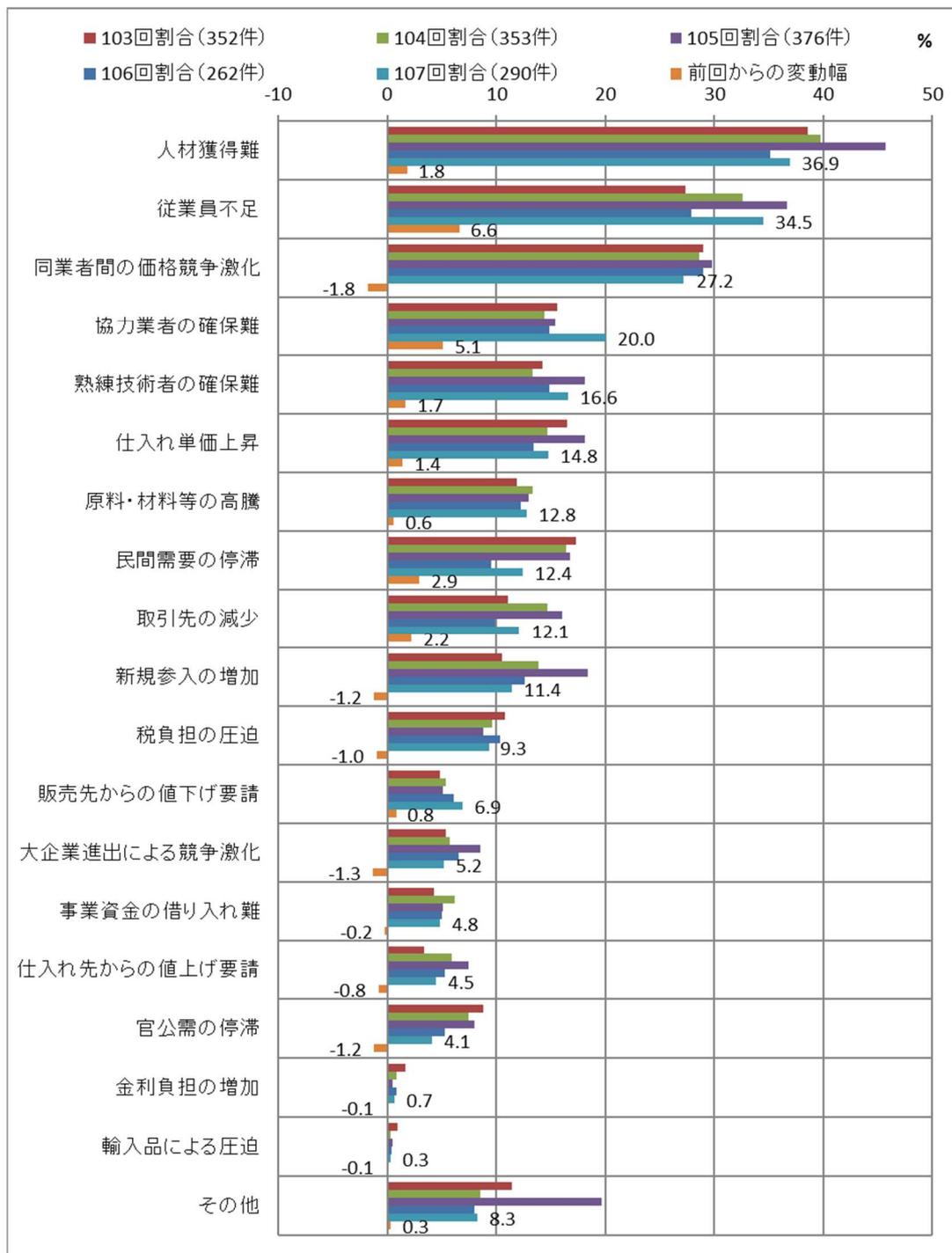
第107回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位	
クロス回答数		292(23)	295(25)	295(27)	293(25)	288(18)		
全体	296	12.7(2.3)	14.2(1.3)	4.4(-3.1)	5.8(-2)	17.4(-7.1)	0.3	
本社地区	福岡地区	198	9.2(-3.5)	10.2(-5.6)	0(-8.6)	4.1(-6.6)	15.5(-13.6)	0.5
	北九州地区	35	17.1(1.8)	22.9(-7.9)	8.6(-3)	-2.9(-29.8)	6.1(-24.7)	2.9
	筑豊地区	37	29.7(26.9)	27(27)	21.6(18.8)	8.3(26)	30.6(30.6)	2.7
	県南地区	21	9.5(20.6)	4.8(27)	0(11.1)	33.3(44.4)	19(7.9)	4.8
	福岡県外	5	0(-100)	60(10)	50(-50)	0(-100)	60(10)	20.0

4 経営上の問題点

貴社において、現在の経営上の問題点の内、特に厳しいもの3項目までを選んでご回答ください。

※106回より「3項目を」から「3項目まで」に変更。

「人材獲得難」「従業員不足」は再び増加、その他上位の多くの項目で回答割合が増加している。



■問題点自由回答

	問題点	業種	今期景況感	従業員数	本社地区
1	物流コストの上昇で、製品単価が上げられない。	サービス業(対事業所)	よい	51名～100名	福岡地区
2	運送トラックの確保難	建設業(建築)	よい	6名～10名	福岡地区
3	協力会社や取引業者等のBCP策定への無関心と先見への無計画。(何度言ってもなかなか重い腰上げてくれません(笑))	サービス業(対個人)	よい	0名～5名	福岡県外
4	業務のシステム化	サービス業(対個人)	よい	0名～5名	福岡地区
5	人材定着	サービス業(対事業所)	よい	6名～10名	福岡地区
6	当社の存在を知ってもらうことに注力中です。	サービス業(対事業所)	普通	0名～5名	福岡地区
7	人材育成	サービス業(対事業所)	普通	100名以上	福岡地区
8	営業力不足	サービス業(対個人)	普通	6名～10名	福岡地区
9	1件当たりの売上が少額化にあります。	サービス業(対個人)	普通	11名～20名	福岡県外
10	現在の市場ニーズに合った設備の導入	製造業(生産財)	普通	11名～20名	県南地区
11	公共単価の底上げ	サービス業(対事業所)	普通	11名～20名	福岡地区
12	人の常識不足によるトラブル	サービス業(対事業所)	普通	6名～10名	福岡地区
13	物流コスト増加	商業・流通業	普通	100名以上	福岡地区
14	固定経費の問題	サービス業(対個人)	普通	0名～5名	福岡地区
15	新規事業計画、事業承継への計画	サービス業(対事業所)	悪い	11名～20名	福岡地区

本社地区別の経営上の問題点						
%	全体	福岡地区	北九州地区	筑豊地区	県南地区	福岡県外
回答件数	290	193	34	37	21	5
人材獲得難	36.9	32.6	44.1	35.1	66.7	40.0
従業員不足	34.5	31.1	41.2	37.8	47.6	40.0
同業者間の価格競争激化	27.2	27.5	32.4	29.7	14.3	20.0
協力業者の確保難	20.0	20.2	23.5	16.2	19.0	20.0
熟練技術者の確保難	16.6	16.6	23.5	13.5	14.3	0.0
仕入れ単価上昇	14.8	15.0	11.8	18.9	14.3	0.0
原料・材料等の高騰	12.8	10.9	14.7	21.6	9.5	20.0
民間需要の停滞	12.4	13.0	11.8	5.4	23.8	0.0
取引先の減少	12.1	10.9	5.9	16.2	14.3	60.0
新規参入の増加	11.4	12.4	11.8	8.1	4.8	20.0
税負担の圧迫	9.3	8.3	8.8	13.5	9.5	20.0
販売先からの値下げ要請	6.9	6.7	5.9	13.5	0.0	0.0
大企業進出による競争激化	5.2	5.7	5.9	2.7	0.0	20.0
事業資金の借り入れ難	4.8	5.7	5.9	0.0	4.8	0.0
仕入れ先からの値上げ要請	4.5	4.7	2.9	2.7	9.5	0.0
官公需の停滞	4.1	5.2	0.0	2.7	4.8	0.0
金利負担の増加	0.7	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
輸入品による圧迫	0.3	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
その他	8.3	9.8	0.0	5.4	4.8	40.0

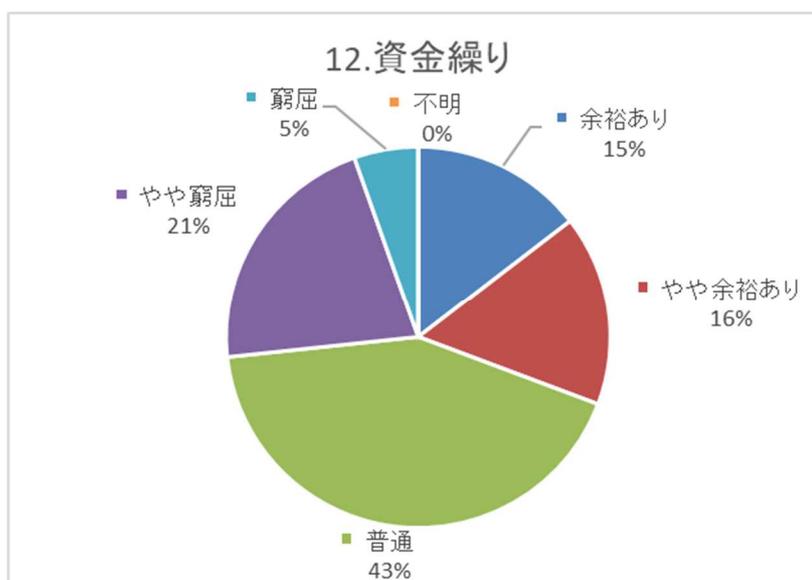
各業種別回答数に対するパーセント
色付きセルは業種別の上位五項目

業種別の経営上の問題点									
%	全体	製造業 (生産財)	製造業 (消費財)	建設業 (建築)	建設業 (土木)	建設業 (設備)	商業・ 流通業	サービス業 (対事業所)	サービス業 (対個人)
回答件数	290	19	20	31	7	15	32	99	67
人材獲得難	36.9	47.4	30.0	48.4	42.9	40.0	31.3	34.3	35.8
従業員不足	34.5	31.6	40.0	45.2	57.1	53.3	25.0	32.3	29.9
同業者間の価格競争激化	27.2	26.3	30.0	12.9	0.0	20.0	40.6	29.3	28.4
協力業者の確保難	20.0	36.8	15.0	54.8	14.3	26.7	6.3	20.2	6.0
熟練技術者の確保難	16.6	26.3	5.0	29.0	71.4	33.3	0.0	17.2	9.0
仕入れ単価上昇	14.8	15.8	20.0	19.4	0.0	33.3	31.3	7.1	11.9
原料・材料等の高騰	12.8	26.3	30.0	9.7	28.6	13.3	18.8	5.1	11.9
民間需要の停滞	12.4	5.3	30.0	6.5	0.0	6.7	18.8	14.1	9.0
取引先の減少	12.1	5.3	15.0	3.2	14.3	6.7	15.6	12.1	16.4
新規参入の増加	11.4	0.0	5.0	6.5	0.0	0.0	9.4	9.1	26.9
税負担の圧迫	9.3	5.3	5.0	6.5	0.0	6.7	3.1	9.1	17.9
販売先からの値下げ要請	6.9	5.3	20.0	3.2	0.0	6.7	9.4	8.1	3.0
大企業進出による競争激化	5.2	0.0	5.0	0.0	14.3	0.0	6.3	4.0	10.4
事業資金の借り入れ難	4.8	10.5	5.0	6.5	0.0	0.0	0.0	5.1	6.0
仕入れ先からの値上げ要請	4.5	0.0	10.0	6.5	0.0	0.0	9.4	2.0	6.0
官公需の停滞	4.1	5.3	10.0	3.2	0.0	6.7	3.1	5.1	1.5
金利負担の増加	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.5
輸入品による圧迫	0.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.3	10.5	0.0	6.5	0.0	0.0	12.5	9.1	10.4
各業種別回答数に対するパーセント 色付きセルは業種別の上位五項目									

5 その他の調査項目

(ア) 資金繰り

12.資金繰り		(SA)		資金繰りDI
No.	カテゴリ	件数	(除不)% (全体)%	
1	余裕あり	43	14.5 14.5	4.1
2	やや余裕あり	48	16.2 16.2	
3	普通	126	42.6 42.6	
4	やや窮屈	63	21.3 21.3	
5	窮屈	16	5.4 5.4	
	不明	0	0 0	
N (%ベース)		296	296 100	

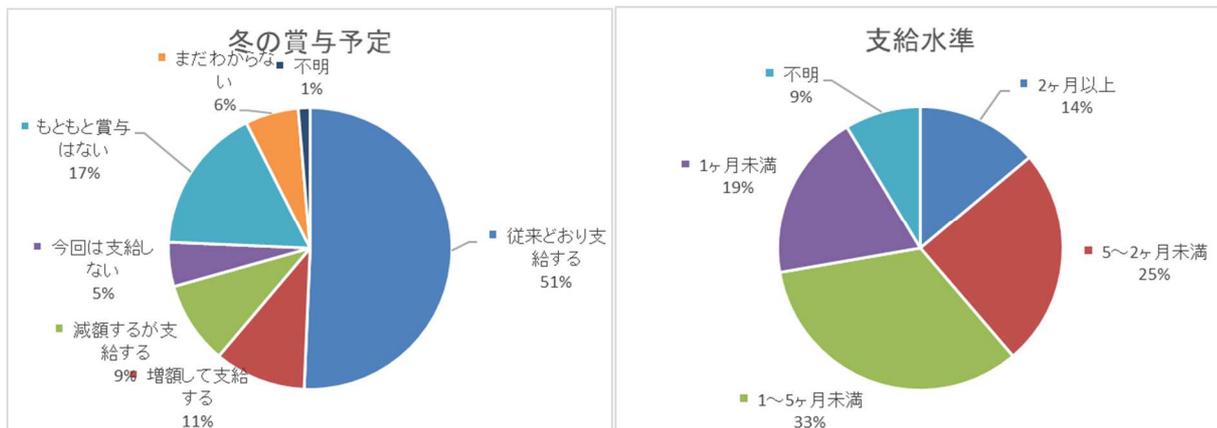


資金繰りDI値は4.1と、前回の10.7より減退しているが、全体では約3/4弱は問題ない状態である。

(イ) 冬の賞与について

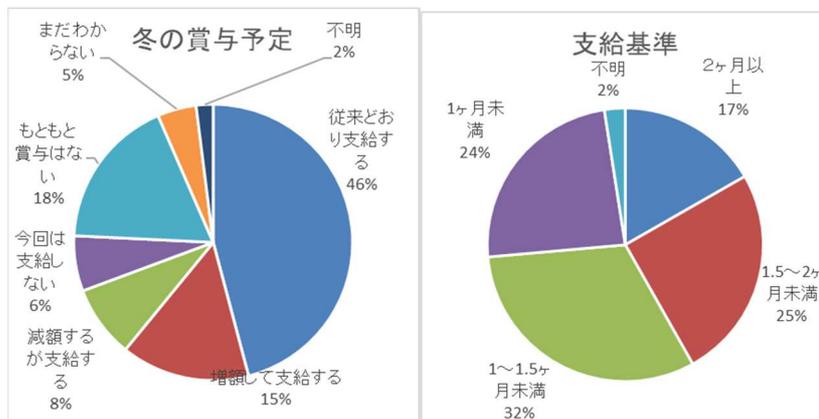
13.冬の賞与予定		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	従来どおり支給する	150	51.4	50.7
2	増額して支給する	31	10.6	10.5
3	減額するが支給する	28	9.6	9.5
4	今回は支給しない	15	5.1	5.1
5	もともと賞与はない	50	17.1	16.9
6	まだわからない	18	6.2	6.1
	不明	4		1.4
	N (%ベース)	296	292	100

14.支給水準		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	2ヶ月以上	29	15.2	13.9
2	5～2ヶ月未満	52	27.2	24.9
3	1～5ヶ月未満	70	36.6	33.5
4	1ヶ月未満	40	20.9	19.1
	不明	18		8.6
	N (%ベース)	209	191	100



前年と比較すると支給する割合としてはあまり変化はなく、「従来通り支給」が増加している。支給水準は1か月未満が減少しているが不明回答が増加しているため比較は注意が必要である。

参考) 第103回 (2018年1期)



(ウ) 消費税率引き上げについて

2019年10月1日より消費税率の引き上げが予定されていますが、どうお考えですか？

やむを得ないという受容の姿勢を示す回答が多い

「影響がある」「困る」という直感的回答、「経理が煩雑」などの実務的回答、「消費に影響がある」という景気予測などがみられたが、強く反対を述べる意見は比較的少数にとどまっており、「やむを得ない」「従う」のほかにも「あまり影響はない」や、「賛成する」という意見も見られた。

一覧は巻末を参照。

消費税率の引き上げは貴社にどのような影響があると思いますか？

駆け込み需要とその反動による消費減退。影響なしという声もあり

売上の減少や資金繰りへの影響を心配する声が多いが、倒産を含めた非常に厳しい影響を覚悟する回答がある一方で「特にない」「問題ない」という回答も各業種にわたって存在しており、現状では全体として比較的冷静に受け止められている。

(エ) 軽減税率制度について

消費税率引き上げの際、軽減税率導入が予定されていますが、貴社にどのような影響があると思いますか？

該当する場合に煩雑さを懸念するが「影響なし」「わからない」が多い

全体としては「影響がない」「問題ない」という回答が多いが、「よくわからない」も多い。

制度が該当すると思われる回答からは「対応する手間がかかる」「事務が面倒になる」など、対応準備や制度開始後について煩雑さを指摘する声があった。

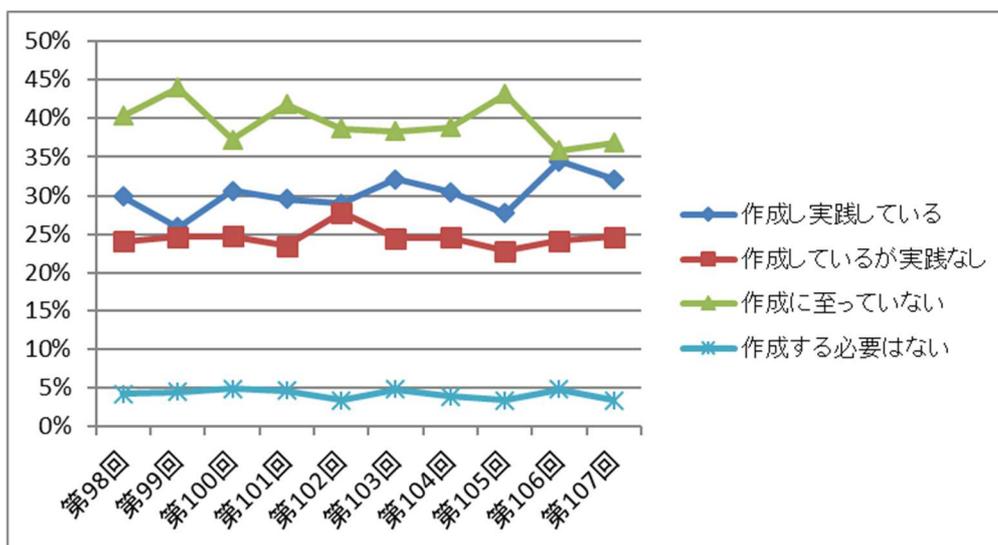
6 経営指針書について

作成の状況

経営指針書を作成していますか。また、指針書に基づいた経営を実践していますか。

前回とほぼ同様の水準ながらそれぞれ 1~2pt 程度の変動がみられる。

No.	経営指針書の作成と実践 カテゴリ	第106回		第107回		増減
		件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	作成し実践している	94	34.7	95	33.1	-1.6
2	作成しているが実践なし	66	24.4	73	25.4	1
3	作成に至っていない	98	36.2	109	38	1.8
4	作成する必要はない	13	4.8	10	3.5	-1.3
	不明	2		9		
	サンプル数(%ベース)	273	271	296	287	16



検証状況

「作成し実践している」と回答された方にお尋ねします。毎月、検証(チェック)していますか。

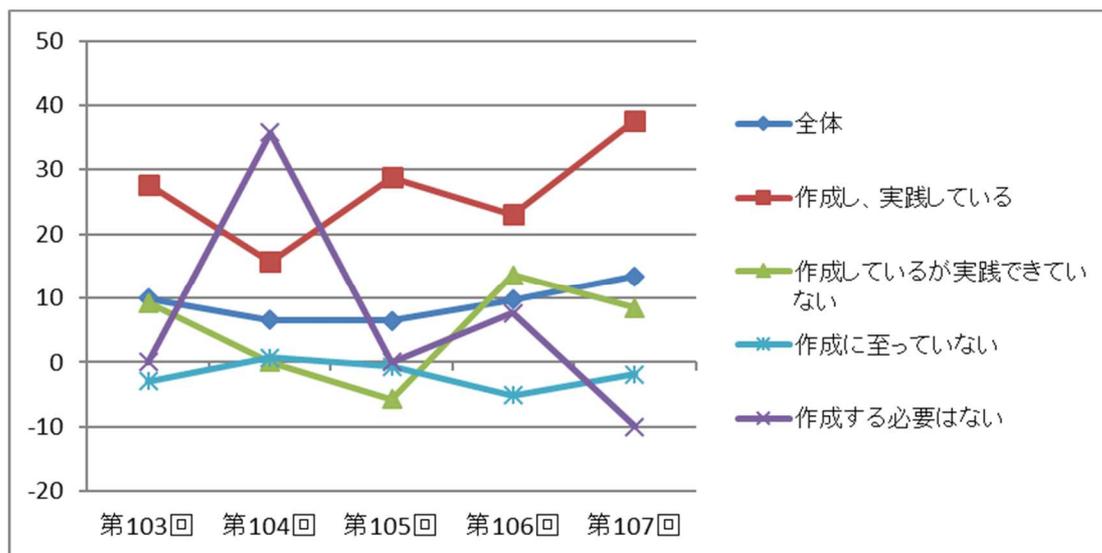
実践している企業のほとんどは一定の頻度で検証している。

17.経営指針書の検証について		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	毎月検証している	38	40	40
2	毎月ではないが検証している	41	43.2	43.2
3	年に1回は検証している	16	16.8	16.8
4	全く検証していない	0	0	0
	不明	0		0
	N (%ベース)	95	95	100

経営指針書の成果

経営指針書の活用は今期景況感の回答にどのように関係しているか

過去5回分について作成状況別に景況DIを見ると、作成し、実践している企業は景況感が高いことが分かる。



7 自由回答項目

(ア) 景況理由

	景況理由	業種	人数	地区	景況
1	業界が好景気であるため。	製造業(生産財)	11~20	筑豊	非常に良い
2	前年度が悪すぎたため比較すると増加となる。	建設業(建築)	11~20	福岡	非常に良い
3	民間の改修工事が多かった	建設業(設備)	6~10	福岡	非常に良い
4	従業員の成長、協力業者の確立	建設業(設備)	6~10	福岡	非常に良い
5	利益率の調整	製造業(生産財)	0~5	福岡	よい
6	たまたま注文が重なった	製造業(生産財)	0~5	県南	よい
7	6月から新規受注をとる為営業をした。	製造業(生産財)	6~10	筑豊	よい
8	大きな修理物件がたまたま入ったため	製造業(生産財)	6~10	筑豊	よい
9	社員教育の実行	製造業(生産財)	21~30	福岡	よい
10	営業努力の結果	製造業(生産財)	51~100	県南	よい
11	売上高は増加したものの、原価高騰、人件費増加とうにより利益はほぼ横ばいとなった。	製造業(消費財)	11~20	北九州	よい
12	官需関係受注の比重が多いため、前年と品種の販売の繁忙期に入った。	製造業(消費財)	21~30	福岡	よい
13	営業活動	製造業(消費財)	31~50	福岡	よい
14	営業努力をしていない。忙しすぎたために先のことをやっていたいなかった。	建設業(建築)	0~5	福岡	よい
15	普通	建設業(建築)	0~5	北九州	よい
16	例年通り、秋以降から繁忙期になったため。	建設業(建築)	6~10	福岡	よい
17	個人住宅の建築戸数(着工数)増加	建設業(建築)	6~10	筑豊	よい
18	ホテル改装、リゾート開発、年度末。	建設業(建築)	11~20	福岡	よい
19	景気がいいと思う	建設業(建築)	21~30	福岡	よい
20	相続対策の消費税UP前の新規受注 建て替え物件の増加	建設業(建築)	100以上	福岡	よい
21	夏期に新規工事受注が多かった点	建設業(土木)	11~20	福岡	よい
22	受注の増加(個人客、建築会社他)	建設業(設備)	6~10	福岡	よい
23	客先が消費税増税にむけて駆け込みが多いのでは	建設業(設備)	11~20	北九州	よい
24	案件はあるものの、働き方改革による残業規制、人材不足により受注を絞らざるを得ない。	建設業(設備)	21~30	北九州	よい
25	既存客を大切に、紹介、リピーターが増加した	商業・流通業	0~5	筑豊	よい

26	人件費の増	商業・流通業	31～50	筑豊	よい
27	設備投資の受注があった。	商業・流通業	51～100	筑豊	よい
28	何もしなかったから。	サービス業(対事)	0～5	福岡	よい
29	売上受注は起業からまだ間もないことから当社の計画通り推移。予想よりも業務委託や備品システム等への投資が込み、利益減少	サービス業(対事)	0～5	福岡	よい
30	新規業務の営業成果	サービス業(対事)	0～5	北九州	よい
31	固定案件を受注したため	サービス業(対事)	0～5	筑豊	よい
32	業務分野の拡張(売上、利益増)単価アップ(新規)	サービス業(対事)	6～10	福岡	よい
33	地道な家業努力	サービス業(対事)	6～10	福岡	よい
34	設立2年目のため	サービス業(対事)	6～10	福岡	よい
35	異業種交流に参加し、紹介頂いています。	サービス業(対事)	6～10	北九州	よい
36	業界	サービス業(対事)	11～20	福岡	よい
37	求人情報のネットへの移行が進んだ。	サービス業(対事)	21～30	福岡	よい
38	新規取引先への営業強化を取り組んできたので、少しずつ結果が出てきているように感じる	サービス業(対事)	51～100	福岡	よい
39	業務の効率化を図った、価格改定を行った	サービス業(対事)	51～100	福岡	よい
40	営業スタッフの増員	サービス業(対事)	51～100	福岡	よい
41	1. 公共工事の発注増加の影響2. 新規事業による売り上げ増	サービス業(対事)	51～100	県南	よい
42	売上増、人件費増	サービス業(対事)	100以上	福岡	よい
43	官庁工事の受注が増えた。	サービス業(対事)	100以上	北九州	よい
44	人づてで紹介依頼したのが成功した	サービス業(対人)	0～5	福岡	よい
45	同友会や他の勉強会、日常生活において学ばせていただいた事を素直に、実行しただけです。	サービス業(対人)	0～5	福岡県外	よい
46	事業継承がうまくいっている	サービス業(対人)	6～10	福岡	よい
47	客単価を上げた。	サービス業(対人)	11～20	福岡	よい
48	体制	サービス業(対人)	21～30	福岡	よい
49	特になし	サービス業(対人)	21～30	筑豊	よい
50	新規需要	サービス業(対人)	100以上	福岡	よい
51	会社体制、環境の整備に伴い大手企業から受注開始	製造業(生産財)	11～20	県南	普通
52	原材料の値上げに反し、価格は競争激化により据え置きのため、粗利は減少。	製造業(生産財)	31～50	北九州	普通
53	例年通り。	製造業(消費財)	0～5	福岡	普通
54	地場産業の不景気の影響	製造業(消費財)	11～20	県南	普通
55	各自治体予算の伸び悩み傾向にある	製造業(消費財)	21～30	福岡	普通

56	鉄の価格の下落により売り上げ、利益共に落ちた。	建設業(建築)	0~5	筑豊	普通
57	安定した元請方より仕事の受注	建設業(建築)	6~10	福岡	普通
58	従業員不足	建設業(土木)	0~5	筑豊	普通
59	顧客が安定している	建設業(設備)	6~10	福岡	普通
60	前年が多すぎて今年は通常の受注と売上になった	建設業(設備)	21~30	県南	普通
61	今期は、当社の期初め[5月~6月]に民間工事の受注が集中したが、公共工事物件で受注が出来なかった為。	建設業(設備)	31~50	筑豊	普通
62	国の助成金を使ってユーザーが導入した	商業・流通業	0~5	福岡	普通
63	PDCAを徹底的にまわしている結果	商業・流通業	6~10	福岡	普通
64	景気の停滞。	商業・流通業	11~20	北九州	普通
65	わからない。	商業・流通業	21~30	福岡	普通
66	製品、商品はほぼ規格改定で粗利増となったが人件費等も増加	商業・流通業	100以上	福岡	普通
67	10月~12月の案件は7月にほぼ受注。	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
68	いわゆる先生業です。起業後1経過しました。ゼロからのスタートでしたので、お試し受注中にこぎつけた段階です。	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
69	お客様の景気は良さそうである	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
70	取引先の発注量の低下。	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
71	仕事内容が固まってしまっている。	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
72	特に環境に変化はないから。	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
73	海外営業(コンサル)の結果、韓国事業コンサルティング売り上げ増加となった。	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
74	社員数が足りていない	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
75	定期収入以外の収入の減少。	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
76	ほぼ一人で事業を行っているため(マンパワーに限界がある)	サービス業(対事)	0~5	北九州	普通
77	ほぼ安定した集客による	サービス業(対事)	0~5	筑豊	普通
78	県、市発注の仕事でうまく受注できた(入札)	サービス業(対事)	0~5	県南	普通
79	変化なし	サービス業(対事)	6~10	福岡	普通
80	不明	サービス業(対事)	6~10	福岡	普通
81	小型案件は減ったが、大型案件が増えている	サービス業(対事)	6~10	福岡	普通
82	ゆっくりしていた	サービス業(対事)	6~10	福岡	普通
83	紹介営業が実を結んだため	サービス業(対事)	11~20	福岡	普通
84	公共工事の設計が増えた	サービス業(対事)	11~20	福岡	普通

85	社員が体調不良で休みがちであった。11月からは復帰している。	サービス業(対事)	11~20	筑豊	普通
86	受注機会はたくさんあるけれども、熟練職人不足により売上・利益ともに伸ばせず苦慮している	サービス業(対事)	21~30	福岡	普通
87	数年前から徐々に需要が減少している	サービス業(対事)	51~100	福岡	普通
88	経営指針に基づく計画のとおり	サービス業(対事)	100以上	福岡	普通
89	法律改正の延期	サービス業(対事)	100以上	福岡	普通
90	努力が足りないから	サービス業(対事)	100以上	筑豊	普通
91	広告出稿のルール変更により	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
92	営業社員の育児休業	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
93	取引先減少	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
94	法律事務所なので特に景気に連動しているわけではなく判断が難しい	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
95	需要の低下が著しいので、色々と試みて何とか現状を維持している状態。	サービス業(対人)	0~5	県南	普通
96	人員過剰	サービス業(対人)	6~10	福岡	普通
97	新店舗オープンのため	サービス業(対人)	11~20	筑豊	普通
98	季節がら同様の推移です。	サービス業(対人)	11~20	福岡県外	普通
99	社員の頑張り	サービス業(対人)	21~30	福岡	普通
100	人手が不足しており、受注できない	サービス業(対人)	51~100	福岡	普通
101	大手量販店の売り場スペース内容の変更(今年は国内品を少なくし、海外品を増やしている。)	製造業(消費財)	11~20	福岡	悪い
102	営業不足による。	製造業(消費財)	31~50	福岡	悪い
103	やや減少傾向だったが12月に入り、一気に回復に向かったのではほぼ横ばい状態になった	建設業(設備)	0~5	福岡	悪い
104	人材募集、他社への営業	建設業(設備)	0~5	福岡	悪い
105	天気の具合	商業・流通業	0~5	福岡	悪い
106	お客様の使用数量の減少と新企画の案件の皆無	商業・流通業	6~10	福岡	悪い
107	営業が高齢化してきている	商業・流通業	6~10	筑豊	悪い
108	事業撤退	サービス業(対事)	0~5	福岡	悪い
109	新規受注数が足りなかった	サービス業(対事)	0~5	福岡	悪い
110	新規顧客の減少	サービス業(対事)	0~5	福岡	悪い
111	特になし	サービス業(対事)	0~5	福岡県外	悪い
112	最重要顧客との契約による	サービス業(対事)	11~20	福岡	悪い
113	売上が減少している	サービス業(対事)	11~20	北九州	悪い
114	10月からの最低賃金 UP による人件費の増、およびスポット業務の受注不足また人手不足による新規物件への躊躇	サービス業(対事)	100以上	県南	悪い

115	消費の低迷、お客様単価の下落	サービス業(対人)	0~5	福岡	悪い
116	競合他社の増加、正社員の離職等	サービス業(対人)	0~5	福岡	悪い
117	客単価が少ない	サービス業(対人)	0~5	北九州	悪い
118	既存客が他店へ流れた。	サービス業(対人)	6~10	福岡	悪い
119	人材不足	サービス業(対人)	51~100	福岡	悪い
120	9月上半期の決算の為	建設業(建築)	0~5	北九州	非常に悪い
121	個人消費の伸び悩み	商業・流通業	0~5	福岡	非常に悪い
122	固定費の削減が追い付かない	商業・流通業	0~5	福岡	非常に悪い
123	業務が難航して終わらな物件が重なりすぎた。さらに完了後の入金未締めが翌々月末。	サービス業(対事)	0~5	福岡	非常に悪い
124	主要取引先の不祥事	サービス業(対事)	31~50	福岡	非常に悪い
125	周知されてきたからと思います	サービス業(対人)	0~5	福岡	非常に悪い
126	講師不足、HP 不具合。	サービス業(対人)	0~5	福岡	非常に悪い
127	既存ユーザーからの新規受注。値上げ交渉による利益増加	製造業(消費財)	51~100	福岡	-

(イ) 消費税引き上げへの意見

	15.消費税引き上げについて	1.業種	2.従業員数	3.本社所在地	5.今期景況判断
1	上がるものは仕方ないので、どう対応しようか検討中	製造業(生産財)	0～5	福岡	よい
2	8月9月は注文が増えて、10月は注文が激減、11月より少しずつ回復する	製造業(生産財)	0～5	県南	よい
3	政府発表ほどの好況感がない中での増税はいかがなものか。	製造業(生産財)	0～5	県南	悪い
4	駆け込み需要がどれほどあるのか心配です。自社の生産キャパオーバーしそうなのでこまります	製造業(生産財)	6～10	筑豊	よい
5	いいことはないと思う。	製造業(生産財)	6～10	筑豊	よい
6	迷惑	製造業(生産財)	11～20	県南	普通
7	よくわからない。関係ないと思う	製造業(生産財)	21～30	筑豊	普通
8	中小企業にとっての税負担増で企業経営はますます厳しくなるものと思われる。	製造業(生産財)	31～50	北九州	普通
9	特になし	製造業(生産財)	51～100	福岡	よい
10	国全体で動いていけば、問題はないのではと思う	製造業(生産財)	51～100	福岡	普通
11	景気下落の引き金になるだろう。	製造業(生産財)	51～100	県南	よい
12	仕方ない	製造業(消費財)	0～5	福岡	悪い
13	延期もしくは中止してほしいと考えている。	製造業(消費財)	11～20	北九州	よい
14	避けて通られない消費税率引き上げに伴い、直前の駆け込み需要対応、その後の需要減対策の判断を迫られる。	製造業(消費財)	21～30	福岡	よい
15	インボイス(適格請求書等、保存方式)導入が心配。	製造業(消費財)	21～30	福岡	よい
16	消費税が上がっても、我社には関係がありません。上がれば上がったで、代金別に計上されます。	製造業(消費財)	21～30	福岡	普通
17	どちらにせよ、今後も継続して上がりそうなので「●●●●円+税」という表記をOKにしてほしい。そうでないと、カタログなどすべて、毎回、印刷し直しになり廃棄がばかにならない。	製造業(消費財)	21～30	筑豊	悪い
18	問題ありません	製造業(消費財)	31～50	福岡	よい
19	今の景況感では景気減速となると思う。よって、今は消費税引き上げ反対!	製造業(消費財)	31～50	福岡	悪い
20	特に無し	製造業(消費財)	51～100	福岡	-
21	やむを得ない	製造業(消費財)	100以上	福岡	普通
22	軽減などの振り分けが分かりにくい。	建設業(建築)	0～5	福岡	よい
23	よくない	建設業(建築)	0～5	北九州	よい
24	しかたがないと思う	建設業(建築)	0～5	北九州	非常に悪い
25	消費が落ち込むかなー。その前の駆け込み需要に期待。	建設業(建築)	0～5	筑豊	普通
26	いつまでも延期はないのかなど。	建設業(建築)	6～10	福岡	よい

27	特にありません。	建設業(建築)	6~10	福岡	普通
28	増税後の冷え込みを懸念している	建設業(建築)	6~10	福岡	普通
29	なってみないとわからないが、非常に厳しくなるとされる。	建設業(建築)	6~10	福岡	普通
30	値引き幅が大きくなる	建設業(建築)	6~10	筑豊	よい
31	ある程度の駆け込み需要はあると思うが、その後に停滞するのではと心配になる。	建設業(建築)	11~20	福岡	非常に良い
32	しょうがない	建設業(建築)	21~30	福岡	悪い
33	増税後の戦略が必要	建設業(建築)	21~30	筑豊	普通
34	2019年3月末までの契約は8%でOKなので強力推進してます。	建設業(建築)	100以上	福岡	よい
35	まだ考えていない	建設業(土木)	0~5	福岡	普通
36	厳しそう	建設業(土木)	0~5	筑豊	普通
37	仕方ない。	建設業(土木)	6~10	福岡	普通
38	国の財政元としては何らかが必要のため致し方ないが、所得層別に税金を取るよう大きく格差を出した方が良くと思う。	建設業(土木)	11~20	福岡	よい
39	駆け込み需要の変動が大きいと思う	建設業(土木)	21~30	福岡	普通
40	元々お客様より頂いておるので大した影響は無いものと考えております	建設業(設備)	0~5	福岡	悪い
41	当社で必要とする設備機器の早めの購入	建設業(設備)	0~5	福岡	悪い
42	国の財政が悪いので、何らかの形で税収をあげるしかないのでは	建設業(設備)	6~10	福岡	非常に良い
43	現在の日本の財政からすると仕方ない	建設業(設備)	6~10	福岡	非常に良い
44	消費税引き上げまえの駆け込み需要により、個人客、建売販売、相続関係による工事の受注が多少増加するか	建設業(設備)	6~10	福岡	よい
45	反対です、いままでの消費税を、なにに使用したのか全く不明です。政府は節約を考えることです。	建設業(設備)	6~10	福岡	普通
46	まだわからない	建設業(設備)	11~20	福岡	普通
47	もともと消費税は社会保障に使うと言いながら大企業には法人税の引き下げをやっている、弱い者いじめの消費税です。絶対反対です。	建設業(設備)	11~20	北九州	よい
48	引き上げは必要と思う	建設業(設備)	21~30	北九州	よい
49	税込みの所は金額据置ができそう	建設業(設備)	21~30	県南	普通
50	消費税の引き上げは、必要と考えているが、軽減税率の導入は行うべきではない。	建設業(設備)	31~50	筑豊	普通
51	引き上げ自体はやむを得ない	建設業(設備)	100以上	福岡	よい
52	困るが仕方ない	商業・流通業	0~5	福岡	普通
53	かなり大きな影響がある	商業・流通業	0~5	福岡	普通

54	事業者負担が一時的に増える	商業・流通業	0～5	福岡	非常に悪い
55	問題なし	商業・流通業	0～5	福岡	非常に悪い
56	国の方針として理解するが大変困る	商業・流通業	0～5	筑豊	よい
57	駆け込み需要が発生し、導入後は一度落ち込み復活する(景気動向にもよる)	商業・流通業	6～10	福岡	普通
58	仕方ない。	商業・流通業	6～10	福岡	普通
59	予定とおりに対応する	商業・流通業	6～10	福岡	悪い
60	状況把握中、	商業・流通業	6～10	筑豊	普通
61	どのようになるかよく分からない。	商業・流通業	6～10	筑豊	悪い
62	消費税引き上げによる影響緩和のための対策など議論？されているようだが、現実的に煩雑になるだけで効果はみられなさそうで何をけんがえているのかわからない。引き上げそのものをやめてほしい。	商業・流通業	6～10	県南	悪い
63	設備投資の減少。	商業・流通業	11～20	北九州	普通
64	軽減税率は今回の10%ではいらなかったのではないか。今後消費税上昇時考慮しても良かったのではないか。	商業・流通業	11～20	北九州	普通
65	弊社は宝石、時計の小売業のために10月以降の消費低迷が予想されます。よって企画、イベントなどは9月までに予定をし半期のうちにある程度の売上予算を組み込む予定です。	商業・流通業	11～20	筑豊	よい
66	影響なし。	商業・流通業	11～20	県南	普通
67	引き上げよりも、税の公正さの検証が必要。大企業への優遇策の見直し、政府の税の使い道、国の仕組みとして税の徴収の仕方に問題があると考えます。	商業・流通業	21～30	福岡	普通
68	特に影響なし	商業・流通業	31～50	福岡	普通
69	駆け込み受注あり	商業・流通業	31～50	筑豊	よい
70	デフレ経済を助長する消費税率の引き上げには反対。引き上げれば消費は停滞する。軽減税率は混乱させるのみ。	商業・流通業	51～100	筑豊	よい
71	高齢少子化社会保険等増大する中 10%の消費税は仕方ないと思います	商業・流通業	100 以上	福岡	よい
72	引上部分は上乘せ予定	商業・流通業	100 以上	福岡	普通
73	社会保障について将来のビジョンを明確にしてほしい、そのうえでキチンと使うのなら仕方ないかなあと考えますが・・・	サービス業(対事)	0～5	福岡	よい
74	想定内。	サービス業(対事)	0～5	福岡	よい
75	嬉しくはない	サービス業(対事)	0～5	福岡	よい
76	用途が明確にされれば賛成	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
77	大きな変化はなし	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通

78	特に影響はないと考えている。	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
79	景気停滞を招く増税はすべきでない。	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
80	法人税率を下げてなのに消費税を上げるのは小零細企業及び低所得者をないがしろにした大企業と高額所得者を優遇した政策だと思います。	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
81	仕様がな	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
82	冷え込む	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
83	ないほうがいいが、引き上げになると思う。	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
84	資金繰りが難しくなる。	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
85	問題はない	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
86	厳しくなるのではと心配です	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
87	顧客加太値上げと見放される可能性あり。	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
88	決まったことには従うが、使い方には疑問あり。	サービス業(対事)	0～5	福岡	悪い
89	会社としては資金について困る	サービス業(対事)	0～5	福岡	悪い
90	転嫁しにくい取引先あり	サービス業(対事)	0～5	福岡	悪い
91	利益率の高い新規業務の拡大を推移させて対応するように考えています。	サービス業(対事)	0～5	北九州	よい
92	諸外国に比べれば低いと思うが、それだけの社会保障もない。	サービス業(対事)	0～5	北九州	普通
93	特になし	サービス業(対事)	0～5	筑豊	普通
94	上がらないほうがよいが上がっても仕事に影響はない	サービス業(対事)	0～5	県南	よい
95	今回は予定通り実施されると思います。その通りに従う	サービス業(対事)	0～5	県南	普通
96	仕方ない	サービス業(対事)	0～5	福岡県外	悪い
97	やむを得ない。	サービス業(対事)	6～10	福岡	よい
98	そのままお客様に負担してもらおう。	サービス業(対事)	6～10	福岡	よい
99	断固反対。5兆円の増税のために6兆円の景気対策とかどうかしている。	サービス業(対事)	6～10	福岡	よい
100	元々外税のためそのものの影響は少ない	サービス業(対事)	6～10	福岡	よい
101	処理が大変だが、国の財政を考えるとやむえない。	サービス業(対事)	6～10	福岡	普通
102	そのまま税率が売りに適用されればいいのですが？	サービス業(対事)	6～10	福岡	普通
103	上げてほしくない	サービス業(対事)	6～10	福岡	普通
104	やむを得ない	サービス業(対事)	6～10	福岡	普通
105	日本政府財務省は何を考えているのかわからない！明らかに困難	サービス業(対事)	6～10	福岡	普通
106	その分あげるしかない	サービス業(対事)	6～10	福岡	普通
107	非常に喜ばしいことです。	サービス業(対事)	6～10	北九州	よい

108	税の使い道がデタラメ。	サービス業(対事)	6～10	福岡県外	-
109	経費削減、	サービス業(対事)	11～20	福岡	よい
110	軽減税率の対応に混乱しそう	サービス業(対事)	11～20	福岡	普通
111	利益に直結するのでやめてほしい	サービス業(対事)	11～20	福岡	普通
112	賛成であり、むしろ遅いぐらいである。	サービス業(対事)	11～20	福岡	悪い
113	やむ得ない	サービス業(対事)	11～20	福岡	悪い
114	良くない 10%は大きい	サービス業(対事)	11～20	北九州	悪い
115	最賃の大幅アップ、働き方改革による労働基準法の変更、そして消費税引き上げと地元中小企業にとってのマイナスの影響力は大きいと思われる。これらの政策に対応できない企業は退場い ただきたいと言わんばかり。	サービス業(対事)	21～30	福岡	よい
116	上げてほしくない	サービス業(対事)	21～30	福岡	普通
117	税金なので仕方ない	サービス業(対事)	21～30	北九州	よい
118	経済が冷え込む恐れあり	サービス業(対事)	21～30	筑豊	普通
119	早く上がって欲しい	サービス業(対事)	31～50	福岡	非常に悪い
120	仕事内容に影響はないが、システム関係の更新等心配である。	サービス業(対事)	51～100	福岡	よい
121	100%価格に反映します。	サービス業(対事)	51～100	福岡	よい
122	経理処理が大変になる	サービス業(対事)	51～100	福岡	よい
123	検討中	サービス業(対事)	51～100	福岡	よい
124	仕方ない	サービス業(対事)	51～100	福岡	よい
125	非常に困ります。	サービス業(対事)	51～100	福岡	普通
126	社会保障制度の維持において必要だと思う。	サービス業(対事)	51～100	福岡	普通
127	特になし	サービス業(対事)	51～100	福岡	普通
128	一時的には冷え込むと思う株価にも影響しそう	サービス業(対事)	51～100	県南	よい
129	社会保険の料率アップ等で、個人の手取り額が減るなかで、支出増となり個人消費の落ち込みが 予想され、景気への影響が懸念される。	サービス業(対事)	100以上	福岡	よい
130	給与の検討が必要かも	サービス業(対事)	100以上	福岡	よい
131	絶対反対。消費が落ち込み景気が悪くなる。	サービス業(対事)	100以上	福岡	普通
132	止めるべきである。財源は、国防費の縮小、輸出企業から還付される消費税の活用、大企業の内 部留保金への課税で確保すべきである。	サービス業(対事)	100以上	福岡	普通
133	使い道の透明性が確保されていればよい	サービス業(対事)	100以上	筑豊	普通
134	決まった通り請求と支払いを行う	サービス業(対事)	100以上	県南	悪い

135	上乗せ料金を改定します	サービス業(対人)	0～5	福岡	よい
136	増税は仕方ないと思うが、その使い道が当初の予定から大きく変わってきていることに疑問を感じる。また財政健全化への道筋が全く示されないのはいかがなものか？国会議員の数が多すぎ、中小企業が1円の利益を出すのに苦労しているのに経費の無駄が多すぎ。報酬に見合う仕事をしてほしい。ただそれだけです。	サービス業(対人)	0～5	福岡	普通
137	デフレを脱却できていない状況で増税をすべきではない	サービス業(対人)	0～5	福岡	普通
138	消費者の家計引締めが強くなると思う	サービス業(対人)	0～5	福岡	普通
139	消費の減少	サービス業(対人)	0～5	福岡	普通
140	景気が落ち込むのではと心配です。	サービス業(対人)	0～5	福岡	普通
141	やむを得ない	サービス業(対人)	0～5	福岡	普通
142	厳しい	サービス業(対人)	0～5	福岡	普通
143	電子化、クレジットカード決済にての対応が間に合っていない、食品と非食品の税率などが混乱しそうに感じる。また消費が今以上に悪くなりそう！！	サービス業(対人)	0～5	福岡	悪い
144	影響ありません。	サービス業(対人)	0～5	福岡	悪い
145	仕方ないと思います。	サービス業(対人)	0～5	福岡	非常に悪い
146	受験費上昇。	サービス業(対人)	0～5	福岡	非常に悪い
147	引き上げ前までに売り上げの上げられるところは計上できるようにする。	サービス業(対人)	0～5	北九州	悪い
148	消費者にとっても中小企業にとっても何のメリットもない。大企業の法人税を引き上げるべき。子供でも分かること。	サービス業(対人)	0～5	筑豊	普通
149	まだすべきではない。	サービス業(対人)	0～5	県南	普通
150	なるようになるのではないかと正直思っております。。また行政(国)も、TOP 次第で良くも悪くもなるもんだなとも思っております。	サービス業(対人)	0～5	福岡県外	よい
151	従う	サービス業(対人)	6～10	福岡	普通
152	対策は特になし。景況は厳しくなると予測します。	サービス業(対人)	6～10	福岡	悪い
153	上げるなら確定して欲しい	サービス業(対人)	6～10	筑豊	よい
154	軽減税率や政府の増税対策が事業者の足かせになると思う。軽減税率とインボイス制度は最悪の組み合わせだと思う。	サービス業(対人)	6～10	筑豊	普通
155	悩ましい事である	サービス業(対人)	6～10	筑豊	悪い
156	内需が落ちるので上げない欲しい。	サービス業(対人)	11～20	福岡	普通
157	予定通りが良いが前途不安	サービス業(対人)	11～20	福岡	普通
158	経済効果、及び徴収分の利用効果は上がらないとおもいます。	サービス業(対人)	11～20	福岡県外	普通

159	従う	サービス業(対人)	21~30	福岡	よい
160	問題なし	サービス業(対人)	21~30	福岡	普通
161	愚策	サービス業(対人)	21~30	筑豊	よい
162	消費マインドが冷えて減退する	サービス業(対人)	31~50	県南	普通
163	中小企業にとってはなかなか厳しいと思う。	サービス業(対人)	51~100	福岡	悪い
164	人出がますます減る	サービス業(対人)	51~100	福岡	非常に悪い
165	軽減税率が大変面倒だ	サービス業(対人)	51~100	北九州	普通
166	出来るなら、先延ばしてほしい。	サービス業(対人)	51~100	北九州	普通
167	一時的な消費の縮小は免れない。	サービス業(対人)	100以上	福岡	よい
168	介護サービス事業所まで消費税を導入しないでほしい。	サービス業(対人)	100以上	県南	よい
169	従います	-	0~5	福岡	普通

(ウ) 消費税引き上げの貴社への影響

	16.引き上げの影響	1.業種	2.従業員数	3.本社所在地	5.今期景況判断
1	現金ストックが少ないので少し苦しくなる	製造業(生産財)	0~5	福岡	よい
2	増税前は納品対応で忙しくなり、10月は暇になる	製造業(生産財)	0~5	県南	よい
3	受注の減少につながる可能性がある。	製造業(生産財)	0~5	県南	悪い
4	駆け込み需要がどれほどあるのか心配です。自社の生産キャパオーバーしそうなのでこまります	製造業(生産財)	6~10	筑豊	よい
5	受注の減少	製造業(生産財)	6~10	筑豊	よい
6	増税前の駆け込み需要があると思われる。	製造業(生産財)	11~20	筑豊	非常に良い
7	特になし	製造業(生産財)	11~20	県南	普通
8	わからないが大きな影響は考えにくい。	製造業(生産財)	21~30	福岡	よい
9	よくわからない。関係ないと思う	製造業(生産財)	21~30	筑豊	普通
10	最終利益の減少。	製造業(生産財)	31~50	北九州	普通
11	特になし営業力でカバーする	製造業(生産財)	51~100	福岡	よい
12	わからない。	製造業(生産財)	51~100	県南	よい
13	民間需要の停滞。	製造業(消費財)	0~5	福岡	普通
14	多少なり影響があるのでは	製造業(消費財)	0~5	福岡	悪い
15	色々な面で影響がでると心配	製造業(消費財)	6~10	福岡	普通
16	売上、利益とも減少になると考えている。	製造業(消費財)	11~20	北九州	よい
17	民間の消費意欲の減退が物流設備機器の販売に悪影響となる可能性がある。	製造業(消費財)	21~30	福岡	よい
18	引き上げ前の納品増加m]及び引き上げ後の売り上げ減。	製造業(消費財)	21~30	福岡	よい
19	影響はありません	製造業(消費財)	21~30	福岡	普通
20	問題ありません	製造業(消費財)	31~50	福岡	よい
21	住宅改修工事は受注減となると予想。	製造業(消費財)	31~50	福岡	悪い
22	加工費の値下げ要求が不安	製造業(消費財)	51~100	福岡	-
23	食品なので影響はあまりないと思う	製造業(消費財)	100以上	福岡	普通
24	受注が集中して、その後の受注が期待薄い。	建設業(建築)	0~5	福岡	よい
25	給与分の消費税により、雇用がしにくい。外注の方がいい。	建設業(建築)	0~5	北九州	よい
26	かなり厳しいと思う	建設業(建築)	0~5	北九州	非常に悪い
27	ない	建設業(建築)	0~5	筑豊	普通
28	直接はないのでは。	建設業(建築)	6~10	福岡	よい
29	特にありません。	建設業(建築)	6~10	福岡	普通

30	新規受注減。増税に関する手続き業務の増。	建設業(建築)	6~10	福岡	普通
31	仕入単価上昇しても工事受注金額は変わらない。	建設業(建築)	6~10	福岡	普通
32	変わらない	建設業(建築)	6~10	筑豊	よい
33	契約を期限内に締結させるため、内容が不十分のまま締結される。また契約が遅れた場合に、10月末までの完了を求められる。	建設業(建築)	11~20	福岡	非常に良い
34	消費が落ち込むので間接的に売上げが落ちると思います	建設業(建築)	21~30	福岡	悪い
35	駆け込み受注	建設業(建築)	21~30	筑豊	普通
36	UP後の受注冷え込み	建設業(建築)	100以上	福岡	よい
37	不明だが、そんなに影響はないと思う	建設業(土木)	0~5	福岡	普通
38	わからない	建設業(土木)	0~5	筑豊	普通
39	仕事が減る可能性がある。	建設業(土木)	6~10	福岡	普通
40	社員の生活水準に影響があり給料のベースアップ、材料・外注費の高騰等が懸念される。	建設業(土木)	11~20	福岡	よい
41	需要減、値引き要請	建設業(土木)	21~30	福岡	普通
42	所費税率が上がる前に受注が上がるとは思います10パーセント成ったら一時的受注が落ちると考えてます	建設業(設備)	0~5	福岡	悪い
43	一時的に需要が減る恐れがある	建設業(設備)	0~5	福岡	悪い
44	特になし(多少の駆け込み需要位)	建設業(設備)	6~10	福岡	非常に良い
45	大きな影響はない	建設業(設備)	6~10	福岡	非常に良い
46	引き揚げ前の住宅設備機器の買い換えの受注が増加、引き上げ後の落ち込みを予測	建設業(設備)	6~10	福岡	よい
47	あまりない	建設業(設備)	6~10	福岡	普通
48	かなりある。	建設業(設備)	11~20	福岡	普通
49	新規建設の低迷	建設業(設備)	11~20	福岡	普通
50	客先から値引きの対象になる	建設業(設備)	11~20	北九州	よい
51	消費税アップ後の景気後退により受注が減少する	建設業(設備)	21~30	北九州	よい
52	駆け込みの工事がある	建設業(設備)	21~30	県南	普通
53	当社のお客様は、食品関係がほとんどであるため、一時的にと思われるがお客様の販売の減少に伴う設備増強計画が中止若しくは延期の可能性が予想され当社の受注や販売に悪影響を懸念している。	建設業(設備)	31~50	筑豊	普通
54	引き上げ後の景気落ち込みはあると思う	建設業(設備)	100以上	福岡	よい
55	引き上げ前の受注が増え、しばらく受注が途絶える	商業・流通業	0~5	福岡	普通
56	内税納めなのでその分値下げとなる	商業・流通業	0~5	福岡	普通

57	かなり厳しい	商業・流通業	0～5	福岡	非常に悪い
58	問題なし	商業・流通業	0～5	福岡	非常に悪い
59	利益率の低下	商業・流通業	0～5	筑豊	よい
60	それほど影響はない	商業・流通業	6～10	福岡	普通
61	利益の減少に繋がる。	商業・流通業	6～10	福岡	普通
62	前回時上がるまえに駆け込み注文と、上がって1～2か月減少したが、可能性としては前回同様あると思う	商業・流通業	6～10	福岡	悪い
63	メーカー発表待ち、据え置きなら変化なし	商業・流通業	6～10	筑豊	普通
64	私たち業種の無形の商品価格の表示には、消費者に消費税がはっきりと見えているわけではないが、価格値上がりの原因の一つとなるだろう。消費者は見直しをすることになるだろう。私たちの付加価値をアピールしていくしかない。	商業・流通業	6～10	筑豊	悪い
65	引き上げ前後の売上げや納品・配送にかなりの差ができる。事務的な作業が大変になるとともにお客様への案内など徹底していかなければならない。	商業・流通業	6～10	県南	悪い
66	わかりません。	商業・流通業	11～20	北九州	普通
67	出荷商品が消費税8%と10%とがあり、事務が煩雑	商業・流通業	11～20	北九州	普通
68	売上の減少	商業・流通業	11～20	筑豊	よい
69	業績にほぼ影響なし。	商業・流通業	11～20	県南	普通
70	小売りですので、慣れるまで、お客さんも含めて混乱があると予測します。	商業・流通業	21～30	福岡	普通
71	特に影響なし	商業・流通業	31～50	福岡	普通
72	反動で業界がますます淘汰される	商業・流通業	31～50	筑豊	よい
73	消費が停滞すれば、製造業の生産量が落ちる。	商業・流通業	51～100	筑豊	よい
74	税額部分が引上となり販売に影響の可能性あり	商業・流通業	100以上	福岡	普通
75	特になし	サービス業(対事)	0～5	福岡	よい
76	多いにある。専門業だから。	サービス業(対事)	0～5	福岡	よい
77	消費税が高いので報酬が圧迫されるかも	サービス業(対事)	0～5	福岡	よい
78	あまり影響はない	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
79	大きな変化はなし	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
80	なし	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
81	完全転嫁出来ない。	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
82	消費税増加分を顧客に負担出来るか不安です。	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
83	売上減少？	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通

84	値下げ要請につながる	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
85	大きな影響はない。	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
86	資金繰りが難しくなる。	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
87	問題はない	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
88	税負担を価格に反映させられないものもある	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
89	本来の売り上げがしにくくなる。	サービス業(対事)	0~5	福岡	普通
90	受注減少が心配。	サービス業(対事)	0~5	福岡	悪い
91	営業上値引きの対象になる可能性あり	サービス業(対事)	0~5	福岡	悪い
92	あまりない	サービス業(対事)	0~5	福岡	悪い
93	駆け込み需要後が心配。	サービス業(対事)	0~5	福岡	非常に悪い
94	値下げ交渉が可能性としてはある。	サービス業(対事)	0~5	北九州	よい
95	価格の値下げ、受注が減ると考えられます。	サービス業(対事)	0~5	北九州	普通
96	特になし	サービス業(対事)	0~5	筑豊	普通
97	さほど影響はなし	サービス業(対事)	0~5	県南	よい
98	個人住宅の設計に若干の影響は出ると思う	サービス業(対事)	0~5	県南	普通
99	景気の冷え込み	サービス業(対事)	0~5	福岡県外	悪い
100	特にないと思う。	サービス業(対事)	6~10	福岡	よい
101	特になし	サービス業(対事)	6~10	福岡	よい
102	処理が倍増する。	サービス業(対事)	6~10	福岡	普通
103	今のところ分かりませんが、ほとんどのお客様は問題ないと思います。ただ、契約を交わす時期や期間で税率の適用には十分注意が必要と思います	サービス業(対事)	6~10	福岡	普通
104	駆け込み需要が少しはあるかも	サービス業(対事)	6~10	福岡	普通
105	基本的には影響しない	サービス業(対事)	6~10	福岡	普通
106	売上減少最悪倒産	サービス業(対事)	6~10	福岡	普通
107	特にない	サービス業(対事)	6~10	福岡	普通
108	経費削減に。	サービス業(対事)	6~10	北九州	よい
109	仕入単価のアップ。	サービス業(対事)	6~10	福岡県外	-
110	売上低下	サービス業(対事)	11~20	福岡	よい
111	販売先からの値下げ要請。	サービス業(対事)	11~20	福岡	普通
112	資金繰りが圧迫される	サービス業(対事)	11~20	福岡	普通
113	利益減	サービス業(対事)	11~20	福岡	普通

114	影響はほとんどない。あるとしても一過性のこと。	サービス業(対事)	11~20	福岡	悪い
115	売上の減少	サービス業(対事)	11~20	福岡	悪い
116	売上減少	サービス業(対事)	11~20	北九州	悪い
117	あまりないと考えます。	サービス業(対事)	11~20	筑豊	普通
118	私どもの取引先への影響が心配	サービス業(対事)	21~30	福岡	よい
119	税負担が相当重くなり経営に悪影響を及ぼす	サービス業(対事)	21~30	福岡	普通
120	ある	サービス業(対事)	21~30	福岡	悪い
121	短期間ではあるが、お客様の設備投資の減少が発生する可能性あり	サービス業(対事)	21~30	筑豊	普通
122	駆け込み需要	サービス業(対事)	31~50	福岡	非常に悪い
123	建設業界の動きとしては、消費税率引き上げ後の仕事が減ることが可能性としてはある。	サービス業(対事)	51~100	福岡	よい
124	特にありません。	サービス業(対事)	51~100	福岡	よい
125	財務対状況を悪化させる恐れあり	サービス業(対事)	51~100	福岡	普通
126	特になし	サービス業(対事)	51~100	福岡	普通
127	影響なし	サービス業(対事)	51~100	福岡	普通
128	個人需要は減ると思うが、弊社の業務としては無くなるものではないので大きな影響は考えにくい	サービス業(対事)	51~100	県南	よい
129	民間の建築需要の落ち込みによる、多少の受注減があるのでは？	サービス業(対事)	100以上	福岡	よい
130	増収と労働案件整備の追い風にしたい	サービス業(対事)	100以上	福岡	よい
131	駆け込み需要がかなりある。	サービス業(対事)	100以上	福岡	普通
132	コストアップ	サービス業(対事)	100以上	福岡	普通
133	長期で考えれば影響はあるかもしれないが、短期では影響はない。	サービス業(対事)	100以上	北九州	よい
134	利益減	サービス業(対事)	100以上	筑豊	普通
135	特に問題はない	サービス業(対事)	100以上	県南	悪い
136	値引きの交渉がはいる。	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
137	販売件数の減少	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
138	既契約の解約や新規契約の減少に影響すると思う	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
139	特になし	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
140	売上の減少に多少影響が出ると思います。	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
141	駆け込み需要があると予想	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
142	あまり影響はないが顧客の負担はいただけない	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
143	消費の低迷	サービス業(対人)	0~5	福岡	悪い
144	影響ありません。	サービス業(対人)	0~5	福岡	悪い

145	あまり影響はないと思います。	サービス業(対人)	0~5	福岡	非常に悪い
146	受講生減少、売り上げ減。	サービス業(対人)	0~5	福岡	非常に悪い
147	契約自体が減ってくる。	サービス業(対人)	0~5	北九州	悪い
148	不動産が動きにくくなる恐れがあります。よって仕事に影響するのではないかと。	サービス業(対人)	0~5	筑豊	よい
149	消費税の積立金を増やすので負担大	サービス業(対人)	0~5	筑豊	普通
150	ほとんど影響はないと思われる。	サービス業(対人)	0~5	県南	普通
151	売上・利益減少。	サービス業(対人)	0~5	県南	普通
152	いろいろ策定しておりますが、どちらかと言えばマイナス傾向に働くとは思いますが、実際に上がってみたいとこればかりは・・・想定している以上の事が起こると心構えはしております。	サービス業(対人)	0~5	福岡県外	よい
153	手間	サービス業(対人)	6~10	福岡	普通
154	引き上げ後の売上げ低下	サービス業(対人)	6~10	筑豊	よい
155	取扱商品に即座に影響は出ないが将来的に値上げのファクターになる。消費マインドの冷え込みとクレジット払いが急激に増加した場合の手数料負担が心配。	サービス業(対人)	6~10	筑豊	普通
156	資金を圧迫しお客様の流動も影響しそうである	サービス業(対人)	6~10	筑豊	悪い
157	そこまで影響はないと思います。	サービス業(対人)	11~20	福岡	よい
158	当社にはそこまで影響はないと思う。	サービス業(対人)	11~20	福岡	普通
159	一時的な需要の減少があると予想	サービス業(対人)	11~20	福岡	普通
160	あまりない	サービス業(対人)	11~20	筑豊	普通
161	売上高の減少傾向がより強くな?と思います。	サービス業(対人)	11~20	福岡県外	普通
162	ない	サービス業(対人)	21~30	福岡	よい
163	問題なし	サービス業(対人)	21~30	福岡	普通
164	特になし	サービス業(対人)	21~30	筑豊	よい
165	消費税自体は預りと仮払の差額を払うだけなので企業の負担といった点ではないのと同じだと考えているが、顧客の負担は大きくなるだけなので顧客が支払を制限したがる傾向は強まり、利益が減ると考える	サービス業(対人)	21~30	筑豊	よい
166	客単価に影響が出て厳しくなるのではと思う。	サービス業(対人)	31~50	県南	普通
167	利益減少で圧迫の懸念	サービス業(対人)	51~100	福岡	悪い
168	売り上げ減	サービス業(対人)	51~100	福岡	非常に悪い
169	一時的にマイナス	サービス業(対人)	51~100	北九州	普通
170	業種上、転嫁できないので業況は非常に悪くなる。	サービス業(対人)	51~100	北九州	普通
171	弊社は保険業のためさほど影響はないと考えています。	サービス業(対人)	100以上	福岡	よい

172	特別影響はない	-	0～5	福岡	普通
-----	---------	---	-----	----	----

(工) 軽減税率制度の影響

	17.軽減税率の影響	1.業種	2.従業員数	3.本社所在地	5.今期景況判断
1	あまり関係ないと思っている	製造業(生産財)	0～5	福岡	よい
2	影響無し、若干経費処理で戸惑いそう	製造業(生産財)	0～5	県南	よい
3	わからない。	製造業(生産財)	0～5	県南	悪い
4	ないです	製造業(生産財)	6～10	筑豊	よい
5	わかりません	製造業(生産財)	6～10	筑豊	よい
6	特に無し	製造業(生産財)	11～20	筑豊	非常に良い
7	特になし	製造業(生産財)	11～20	県南	普通
8	なし	製造業(生産財)	21～30	筑豊	普通
9	余り影響はないものと思われる。	製造業(生産財)	31～50	北九州	普通
10	ない	製造業(生産財)	51～100	福岡	よい
11	面倒臭くないほうがいいのかでは	製造業(生産財)	51～100	福岡	普通
12	不明。	製造業(消費財)	0～5	福岡	普通
13	影響がありそうだが分からない	製造業(消費財)	0～5	福岡	悪い
14	難しいのでやめてほしい	製造業(消費財)	6～10	福岡	普通
15	あまり影響はない。	製造業(消費財)	11～20	北九州	よい
16	影響はない。	製造業(消費財)	21～30	福岡	よい
17	何とも言えない。分からない。	製造業(消費財)	21～30	福岡	よい
18	影響はありません	製造業(消費財)	21～30	福岡	普通
19	問題ありません	製造業(消費財)	31～50	福岡	よい
20	非常に煩雑で分かりにくいし、特に小規模事業者の負担が大きい。	製造業(消費財)	31～50	福岡	悪い
21	特に無し	製造業(消費財)	51～100	福岡	-
22	いまいちわからない。	建設業(建築)	0～5	福岡	よい
23	なし	建設業(建築)	0～5	北九州	よい
24	かなり厳しいと思う	建設業(建築)	0～5	北九州	非常に悪い
25	特になし。	建設業(建築)	6～10	福岡	よい
26	特にありません。	建設業(建築)	6～10	福岡	普通

27	あまり関係ないと考えている。	建設業(建築)	6~10	福岡	普通
28	わからない	建設業(建築)	6~10	福岡	普通
29	影響は特に思い当たらない。	建設業(建築)	11~20	福岡	非常に良い
30	あまりないと思います	建設業(建築)	21~30	福岡	悪い
31	ない	建設業(建築)	21~30	筑豊	普通
32	今のところはわからない。	建設業(建築)	100以上	福岡	よい
33	ない	建設業(土木)	0~5	福岡	普通
34	わからない	建設業(土木)	0~5	筑豊	普通
35	あまり影響なし。	建設業(土木)	6~10	福岡	普通
36	あまり影響がない。	建設業(土木)	11~20	福岡	よい
37	特段あるとは思わない	建設業(土木)	21~30	福岡	普通
38	我が社の場合軽減税率掛る物が無いから影響は無いものと考えてます	建設業(設備)	0~5	福岡	悪い
39	駆け込み需要が少しあるのかも	建設業(設備)	0~5	福岡	悪い
40	特になし	建設業(設備)	6~10	福岡	非常に良い
41	なし	建設業(設備)	6~10	福岡	非常に良い
42	殆どの事項に関係なし	建設業(設備)	6~10	福岡	よい
43	あまりない	建設業(設備)	6~10	福岡	普通
44	新規建設の低迷	建設業(設備)	11~20	福岡	普通
45	事務処理に時間がかかり大変だと思います	建設業(設備)	11~20	北九州	よい
46	特に影響はなし	建設業(設備)	21~30	北九州	よい
47	計算が大変だと思う	建設業(設備)	21~30	県南	普通
48	お客様の経理帳簿の記帳が煩雑となることが予想され、当社のスタッフの増員や処理時間の増大に伴う人件費増が懸念される。	建設業(設備)	31~50	筑豊	普通
49	特になし	建設業(設備)	100以上	福岡	よい
50	特になし	商業・流通業	0~5	福岡	普通
51	小売商品なのでない	商業・流通業	0~5	福岡	普通
52	プラスはない	商業・流通業	0~5	福岡	非常に悪い
53	問題なし	商業・流通業	0~5	福岡	非常に悪い
54	全くない	商業・流通業	0~5	筑豊	よい
55	分からない	商業・流通業	6~10	福岡	普通
56	対象となっていない。	商業・流通業	6~10	福岡	悪い

57	軽減税率なのかメーカーの回答待ち、業界自体が未だ未確定	商業・流通業	6～10	筑豊	普通
58	分からない	商業・流通業	6～10	筑豊	悪い
59	業務用食品が主ではあるが、ギフトや食品以外など多数あるので、それぞれに対応した作業が必要となり様々なミスが出てくるのではないかと心配している。伝票入力ソフトや書類など準備も多いと予想される。	商業・流通業	6～10	県南	悪い
60	ありません。	商業・流通業	11～20	北九州	普通
61	事務が煩雑	商業・流通業	11～20	北九州	普通
62	影響なし。	商業・流通業	11～20	県南	普通
63	分かりません。	商業・流通業	21～30	福岡	普通
64	特に影響なし	商業・流通業	31～50	福岡	普通
65	なし	商業・流通業	31～50	筑豊	よい
66	直接的には影響はないが、軽減税率導入してまで消費税率を引き上げる必要なし。	商業・流通業	51～100	筑豊	よい
67	車の買い替えを早めて、買います	商業・流通業	100以上	福岡	よい
68	食品販売において規模は大きくないが分別判断必要部門あり	商業・流通業	100以上	福岡	普通
69	ちょっと面倒にはなるかなあ	サービス業(対事)	0～5	福岡	よい
70	大いに仕事に関係する。	サービス業(対事)	0～5	福岡	よい
71	面倒くさいだけ	サービス業(対事)	0～5	福岡	よい
72	影響はない	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
73	大きな変化はなし	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
74	なし	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
75	事務負担が増え、対応困難。	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
76	事務作業効率が大幅に低下します。その作業増加分を顧客に転嫁できない。	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
77	特になし	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
78	特になし	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
79	大きな影響はない。	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
80	影響なし	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
81	問題はない	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
82	キャッシュレスポイントに期待	サービス業(対事)	0～5	福岡	普通
83	経理処理の若干の変更程度	サービス業(対事)	0～5	福岡	悪い
84	あまりない	サービス業(対事)	0～5	福岡	悪い
85	ない	サービス業(対事)	0～5	福岡	悪い

86	影響なし。	サービス業(対事)	0～5	福岡	非常に悪い
87	影響があるかどうかわからない	サービス業(対事)	0～5	北九州	よい
88	特に影響がでるとは思っていない。	サービス業(対事)	0～5	北九州	普通
89	特になし	サービス業(対事)	0～5	筑豊	普通
90	さほど影響はなし	サービス業(対事)	0～5	県南	よい
91	ない	サービス業(対事)	0～5	県南	普通
92	特になし	サービス業(対事)	0～5	福岡県外	悪い
93	特に影響はないと思われる。	サービス業(対事)	6～10	福岡	よい
94	顧客の指導が必要となる	サービス業(対事)	6～10	福岡	普通
95	ないと思います。	サービス業(対事)	6～10	福岡	普通
96	無し	サービス業(対事)	6～10	福岡	普通
97	影響しない	サービス業(対事)	6～10	福岡	普通
98	よくわからない	サービス業(対事)	6～10	福岡	普通
99	関係なし。	サービス業(対事)	6～10	福岡県外	-
100	未定	サービス業(対事)	11～20	福岡	よい
101	業務が煩雑になりそう。	サービス業(対事)	11～20	福岡	普通
102	顧客導入のシステム改変に手を取られる	サービス業(対事)	11～20	福岡	普通
103	なし	サービス業(対事)	11～20	福岡	普通
104	ほとんど関係ない。	サービス業(対事)	11～20	福岡	悪い
105	大変に面倒くさい	サービス業(対事)	11～20	福岡	悪い
106	影響はない	サービス業(対事)	11～20	北九州	悪い
107	あまりないと考えます。	サービス業(対事)	11～20	筑豊	普通
108	特に自社への影響はない。	サービス業(対事)	21～30	福岡	よい
109	あまり影響はないと思うが、区分が良くわからない	サービス業(対事)	21～30	福岡	普通
110	複雑になる。効率化を進めている状況で、また非効率になる。働き方改革との乖離がある。	サービス業(対事)	21～30	筑豊	普通
111	なし	サービス業(対事)	31～50	福岡	非常に悪い
112	まだよくわからない	サービス業(対事)	51～100	福岡	よい
113	経理業務が煩雑になると思われる。	サービス業(対事)	51～100	福岡	よい
114	経理処理が煩雑になる	サービス業(対事)	51～100	福岡	よい
115	無	サービス業(対事)	51～100	福岡	普通
116	特になし	サービス業(対事)	51～100	福岡	普通

117	特にない	サービス業(対事)	51~100	福岡	普通
118	特段影響はない	サービス業(対事)	51~100	県南	よい
119	特に影響はないと思う。	サービス業(対事)	100以上	福岡	よい
120	事務作業の増加	サービス業(対事)	100以上	福岡	普通
121	事務処理が増える。	サービス業(対事)	100以上	北九州	よい
122	得になし	サービス業(対事)	100以上	筑豊	普通
123	特に問題はない	サービス業(対事)	100以上	県南	悪い
124	あとで税務調査が入って見解の相違が起きないか心配、判りやすい税制を期待します。	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
125	対象外のため関係なし	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
126	直接の影響はないと思うが、間接的に徐々に影響される。	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
127	特になし	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
128	無。	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
129	特になし	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
130	全く影響ない	サービス業(対人)	0~5	福岡	普通
131	電子化などが、急務となっているが、対応が難しい	サービス業(対人)	0~5	福岡	悪い
132	影響ありません。	サービス業(対人)	0~5	福岡	悪い
133	あまり影響はないと思います。	サービス業(対人)	0~5	福岡	非常に悪い
134	不動産業界なので少しは助かる。	サービス業(対人)	0~5	北九州	悪い
135	自社には影響は少ない	サービス業(対人)	0~5	筑豊	普通
136	ほとんど影響はないものと思われる。	サービス業(対人)	0~5	県南	普通
137	全く関係ない。キャッシュレスで還元するなど愚策にもほどがある。	サービス業(対人)	0~5	県南	普通
138	そのお話し、今後更に詳しく聞く予定ですのでそれから考えます！	サービス業(対人)	0~5	福岡県外	よい
139	手間	サービス業(対人)	6~10	福岡	普通
140	アルだけ少しはマシ	サービス業(対人)	6~10	筑豊	よい
141	取引のある中小企業の業績悪化が心配。平成35年インボイス制度を考えてこれを機に廃業しようとする小規模事業者が続出すると思う。	サービス業(対人)	6~10	筑豊	普通
142	特にその影響はない。	サービス業(対人)	11~20	福岡	よい
143	当社にはそこまで影響はないと思う。	サービス業(対人)	11~20	福岡	普通
144	プラスにはならない	サービス業(対人)	11~20	福岡	普通
145	ない	サービス業(対人)	11~20	筑豊	普通
146	あまりその効果は、ほとんど期待出来ないと思います。	サービス業(対人)	11~20	福岡県外	普通

147	ない	サービス業(対人)	21~30	福岡	よい
148	問題なし	サービス業(対人)	21~30	福岡	普通
149	特になし	サービス業(対人)	21~30	筑豊	よい
150	対象外なので恩恵はない。しかし面倒もない。	サービス業(対人)	21~30	筑豊	よい
151	レジでの対応が複雑になり設備投資も増える影響がでる。	サービス業(対人)	31~50	県南	普通
152	軽減税率はほぼ関係ない。	サービス業(対人)	51~100	福岡	悪い
153	影響なし	サービス業(対人)	51~100	福岡	非常に悪い
154	レジ変更など、大変な費用がかかる	サービス業(対人)	51~100	北九州	普通
155	なし	サービス業(対人)	51~100	北九州	普通
156	よくわかりません。	サービス業(対人)	100以上	福岡	よい